

IMES DISCUSSION PAPER SERIES

江戸期秤量銀貨の使用状況
重量ならびに小極印からみた若干の考察

にしかわゆういち
西川裕一

Discussion Paper No. 2000-J-24

IMES

INSTITUTE FOR MONETARY AND ECONOMIC STUDIES
BANK OF JAPAN

日本銀行金融研究所

〒103-8660 日本橋郵便局私書箱 30 号

備考： 日本銀行金融研究所ディスカッション・ペーパー・シリーズは、金融研究所スタッフおよび外部研究者による研究成果をとりまとめたもので、学界、研究機関等、関連する方々から幅広くコメントを頂戴することを意図している。ただし、論文の内容や意見は、執筆者個人に属し、日本銀行あるいは金融研究所の公式見解を示すものではない。

江戸期秤量銀貨の使用状況

重量ならびに小極印からみた若干の考察

にしかわゆういち
西川裕一*

要 旨

江戸期貨幣については、これまで制度史的アプローチ、古銭学的アプローチ、社会経済史的アプローチの3方向から分析がなされている。本稿は、このうち実物資料調査による古銭学的アプローチを基本に据え、日本銀行金融研究所所蔵の江戸期の秤量銀貨である丁銀・豆板銀について、その使用状況に関する手がかりを得るため、重量ならびに両替商により打たれたとみられる小極印数を調査し、得られた結果を上記3つのアプローチによる先行研究と照合したものである。

重量測定結果をみると、丁銀の平均重量は江戸期を通じて150g内外を示すとともに、一定の重量に集中することなく、ばらつきがみられることが判明した。これは丁銀が単体で使用されるのではなく、豆板銀を加えて規定の重量にしたうえで包封された「包銀」の形で主に流通していたとの通説を裏付けるものと考えられる。やや子細にみると、慶長丁銀や元禄丁銀といった江戸期初期の丁銀、ならびに幕末期の安政丁銀の平均重量はいずれも160g超である一方、江戸期唯一の高品位化の改鑄により鑄造された正徳丁銀の平均重量が136.59gと他の丁銀に比べて軽いことが特徴的であった。なお、豆板銀についても重量のばらつきに加え、2g以下の資料が全体の約4割を占めることを確認した。軽量のものは元禄豆板銀や正徳豆板銀に特に多い。

また、丁銀の表面にみられる小極印数を調査した結果、江戸時代中期（18世紀）に鑄造された丁銀に多くの小極印が打たれているのを確認できた反面、幕末期のものには小極印がほとんど打たれていないことがわかった。このことから、江戸時代中期に丁銀が頻繁に両替商や商人の間を転々流通していた可能性が高いとみられる一方、幕末期には丁銀が両替商の間でやりとりされることがほとんどなくなったと推測される。

キーワード：丁銀、豆板銀、秤量銀貨、小極印、包銀、両替商

JEL classification: N2

* 日本銀行金融研究所研究第3課 (E-mail: yuichi.nishikawa@boj.or.jp)

本稿作成に当たっては、松山大学・岩橋勝教授、ならびに一橋大学・大久保隆教授から有益なコメントを頂戴した。また、下関市立大学・櫻木晋一教授には小極印数の調査にご協力いただいた。

なお、本稿で示されている内容および意見は筆者個人に属し、日本銀行の公式見解を示すものではない。

目次

1 . はじめに	1
2 . 文献史料からみた秤量銀貨	1
(1)わが国における銀貨の歴史の変遷	1
(2)丁銀・豆板銀の小極印が持つ意味	5
3 . 今回調査の内容	7
(1)調査対象資料	7
(2)調査方法	8
(3)調査結果	9
イ . 丁銀および豆板銀の重量データ	9
ロ . 丁銀の小極印数データ	10
4 . 調査結果からみた若干の考察	11
(1)重量	11
(2)小極印	13
5 . 今後の課題	14
参考文献	15

1. はじめに

貨幣には、品位と量目が一定で、表面に額面を示した定位貨幣と、品位は一定であるが量目は一定せず、取引の都度、重量を計って使用した秤量貨幣が存在する¹。江戸期に使用された丁銀²や豆板銀はこのうち後者に属する(ただし、品位は時代により変遷)が、具体的な使用状況についてははっきりしない部分も多い。

江戸期貨幣については、これまで制度史的アプローチ、古銭学的アプローチ、社会経済史的アプローチの3方向から分析がなされている。本稿では、このうち実物資料調査による古銭学的アプローチを基本に据え、日本銀行金融研究所が所蔵する丁銀、豆板銀の個別重量を計測し、丁銀表面にみられる小極印数を調査するとともに、秤量銀貨の使用状況について上記3つのアプローチによる先行研究との照合を行い、若干の考察を加えた。以下、第2節では、わが国における秤量銀貨に関するこれまでの研究成果を整理したうえで、秤量銀貨の歴史的変遷と丁銀や豆板銀に打たれた小極印の持つ意味について述べる。次いで、第3節では、重量調査および小極印数調査の結果を示し、これを元に、第4節で秤量銀貨の使用状況について若干の考察を加える。最後に第5節では残された課題を指摘する。

2. 文献史料からみた秤量銀貨

(1) わが国における銀貨の歴史的変遷

一般に、貨幣には交換手段、価値尺度、価値保蔵手段としての機能が求められるが、わが国で銀が交換手段としての役割を担うようになったのは、室町時代に地金の形態で用いられた山銀・灰吹銀が最初であったとみられている³。その後、銀山の急速な開発や商品経済の発達に伴って、灰吹銀等の使用が一般にも広まり、室町時代末期には極印により地名や吹き手などを表示した、いわゆる極印銀の出現を各地でみることとなった。

¹ 秤量貨幣が一般に交換手段として機能するためには、秤量という行為をサポートするルールと体制が整備されている必要がある。まず体制面の変遷をみると、室町～安土桃山時代頃までは秤の規格ならびに分銅重量の統一がなされておらず、金銀をはじめとする交換取引上、不都合を来たすことが多かったとみられる。江戸時代入り後、幕府は秤量銀貨の流通を円滑にするために、秤と分銅の両面から整備、統一を進めた。秤については、1653年に江戸秤座(守随家)と京都秤座(神家)に分掌させて製作方法を整備し、一方の分銅は1665年に大判や彫物製作を行っていた後藤家に独占製造権を認め、後藤家極印付きの分銅を全国で使用させることで統一を図った。次に、重量の基準となる度量衡の変化をみると、鎌倉時代後期頃より銀1両(重量単位)を4匁3分とする慣行が生まれ、室町時代後期頃より貫匁法(1貫=1,000匁)が用いられるようになった(岩田重雄、「近世における質量標準の変化」、日本計量史学会『計量史研究』Vol.1 No.1、1979年、7頁)。なお、本稿で用いた「匁」に関する計算には、1891年の度量衡法に採用された「1匁=3.750g」を用いた。

² なまこ形をした銀塊で、幕府公認の貨幣鑄造機関である銀座(当初伏見、駿府に設置され、後にそれぞれ京都、江戸に移転)で鑄造・発行された。表面には「大黒」「常是」「宝」および大黒像などの極印が、銀座での鑄造を示すために打たれている。また、なまこ形をしていない小型の銀塊は、豆板銀と呼ばれ、同様の極印が打たれている。

³ 小葉田淳、『日本貨幣流通史』、刀江書院、1969年、337～339頁

これらは種類ごとに品位が定められ⁴、高額取引における交換手段としてやり取りされていたとみられる。さらに極印銀は、商品市場の進展に伴い、遠隔地取引を行う商人達によって、諸国の港町や商品流通の中心地であった関西の諸都市に持ち込まれ、中でも泉州堺の銀商人が諸国の銀を集めて鑄造した丁銀は、この地域における中心的な交換手段として広く利用されたといわれている。その際、比較的小口の取引においては、丁銀や極印銀を必要な分だけ切り取って使用するといった、いわゆる「切遣い」が行われ、同地域では、丁銀や極印銀を商取引の交換手段として用いる一大経済圏が形成されていった。もっとも、当時の丁銀や極印銀は銀産地により品位が異なっていたため、支払時に重量のみならず品位の鑑定も必要であったことから、交換価値の判断等に手間がかかり、不便を生じていたとみられる⁵。

慶長6(1601)年、関ヶ原の戦いで勝利を収め天下の覇権を握った徳川家康は、幕府公認の銀貨鑄造機関として銀座を設立したうえで慶長銀を鑄造・発行させ、表面には当時関西地方の有力極印銀の1つであった大黒の極印を打たせた。これは、家康が当時関西経済圏で一般的に使用されていた丁銀を全国的に基準化しようとしたためとみられる。この慶長銀は品位が80%に統一され、使用時における品位確認の手間がかからなくなったこともあって徐々に受け入れられ、全国的な商取引の広がりにも寄与していったものと考えられる。

なお、慶長丁銀は、当初、一般の極印銀と同様に切遣いが行われたらしく、日本銀行金融研究所の所蔵資料の中にも、たがねを用いて切断されたとみられるものが存在する⁶。これらの切断片の厚みは、後期の慶長丁銀に比べて薄く、切遣いされることを念頭において鑄造されていたと推測される。

その後、丁銀の切遣いは元和年間(1615~1624)に禁止されたとみられている⁷。禁止の背景については不透明であるが、切遣いを前提として各地で鑄造されていた丁銀・極印銀⁸の使用を抑制し、幕府鑄造の慶長丁銀および慶長豆板銀への流通銀貨統一を促進させる狙いがあったものと窺われる。実際、寛文年間(1661~1673)には、古来地方の極印銀を使用していた地方でも、慶長丁銀および慶長豆板銀の使用に転換したという⁹。

⁴ 極印銀の品位は、ほとんどが85%超であった。

⁵ 田谷博吉、『近世銀座の研究』、吉川弘文館、1963年、4頁

⁶ 切り口の状況から切遣い時における銀の切断方法を推測すると、切断箇所にてたがねを打って切込みを入れ、その場所をへし折ることで分断したものと考えられる。

⁷ 久光重平、『日本貨幣物語』、毎日新聞社、1976年、87頁

慶長丁銀の発行期間中に切遣いが禁止されたため、同丁銀の形態が、発行当初にみられた切遣いに適した薄手のものから、厚手のものへと変化したと考えられる。

⁸ 地方銀のうち、豆板銀と同様の形状を持つ銀は、筑前国や伯耆国などで鑄造されたものの一部にみられるのみであり、その他はすべて切遣いされていたものとみられる。

⁹ 田谷博吉、『近世銀座の研究』、吉川弘文館、1963年、158頁

ここで、幕府により制定された金銀相場の変遷をみると、『吹塵録』所収の「貨幣通考」に慶長金銀制定当初の状況が記されており、「銀は大概 42、3 匁 (= 157.50 ~ 161.25 g) を以て小判 1 枚に替ふ」とある¹⁰。その後、慶長銀の金貨に対する交換価値は低下していき、幕府は慶長 14 (1609) 年に交換相場を金 1 両につき銀 50 匁 (= 187.50 g) のレベルに公定している¹¹。

その後、市中一般の金銀相場において、秤量銀貨は金貨との交換価値を下落させ、元禄の改鑄前の時点 (17 世紀末期) で、金 1 両当たり銀 66 匁余りに達している。また、元禄改鑄後も一層相場が変動したため、元禄 13 (1700) 年 11 月、幕府は勘定所における蔵元払い金の両替相手を、金 1 両につき銀 60 匁替に法定している¹²。これより以後、市中一般の取引では小判 1 枚銀 60 匁替が原則とされたものの¹³、幕府による相場安定化策はさほど効果を発揮することなく、両替商間の金銀両替相場は常に変動していたといわれている。

さて次に、切遣いが禁止された後の丁銀の流通形態についてみると、幕府は収納する上納銀すべてについて、大黒常是 (世襲による銀吹所¹⁴の長) に包封させ¹⁵、支払には包みの形態のまま供したといわれている¹⁶。

このうち、高額取引では「五百目包」形態のものが主に使用された¹⁷。これは、重量が 500 目¹⁸ (= 1,875 g) となるように丁銀が十数個まとめて包まれたもので (端数分は豆板銀を加えて調整)、包みの端には銀座もしくは両替商の判が押された。この五百目包は、幕府の支払や古銀との引替などを通じて民間に出回り、商取引には銀座で包封された「常是包」のほか、両替商が包んだ「仲間包」も使用されたといわれている。なお、包みの形態には五百目包のほかに、「百目包」 (= 375 g) や「枚包」と呼ばれる 43 匁 (= 161.25 g) を 1 取引単位 (銀 1 枚) として包封した形態のものがあり、「三枚包」、「五枚包」、「十枚包」といったバリエーションがみられた¹⁹。

¹⁰ 勝海舟 (編)、『貨幣通考』、『吹塵録』第 14 冊、大蔵省、1890 年、3 頁

¹¹ 三井高維、『新稿両替年代記關鍵 卷二考證篇』、岩波書店、1933 年、257 頁

¹² ただし両替商に対しては金 1 両銀 58 匁替とした (三井高維、『新稿両替年代記關鍵 卷二考證篇』、岩波書店、1933 年、257 ~ 258 頁)

¹³ 元禄 13 (1700) 年の相場法定以降、幕府は金貨や銀貨の改鑄を実施しても、交換法定平価 (金 1 両 = 銀 60 匁) は変更していない。

¹⁴ 銀座のうち、銀貨鑄造の実務をつかさどる部署。

¹⁵ 元禄 13 年 11 月の「小普請金取立之事」と題した触書にみられる「小普請銀例年面々方にて金は後藤包、銀は常是包に致し」という文言からも、幕府が丁銀を収納する際に常是包が用いられたことを窺うことができる (高柳眞三、石井良助 (編)、『御觸書寛保集成』、岩波書店、1934 年、1311 頁)。

¹⁶ 田谷博吉、『近世銀座の研究』、吉川弘文館、1963 年、124 頁

¹⁷ 田谷博吉、『近世銀座の研究』、吉川弘文館、1963 年、124 頁

¹⁸ 銀の重量単位である「目」は、「匁」と同義で用いられた。1 目 = 1 匁 = 3.75g

¹⁹ 大蔵省、『大日本貨幣史 本篇 三貨部』、1925 年、124 頁

一方、豆板銀は、包みの重量調整用としてだけでなく、携帯可能な銀秤で随時秤量できたことから、銀 10 匁 (= 37.50 g) 以下の日常レベルでの小額取引でも用いられた²⁰といわれている。正徳 5 (1715) 年 4 月に出示された触書をみると、

元禄以前之江戸表におゐても、小玉銀之銀通用有之候處ニ、近年に至て小玉之銀其數すくなく候故に、其替りとして専らに錢を以て通用候によりて、錢の相場ハいふに及はず、小判切賃等も年々に高直に至り、諸人の難儀に及び候、依之今度此新銀は別して小玉の數を増し、(以下略)

とあり、豆板銀の流通が滞った際に、代わりに錢貨が用いられたことがわかるほか、幕府が正徳銀の鑄造に当たり、豆板銀を多く鑄造して流通を図ろうとしたことを読み取ることができる²¹。もっとも、豆板銀の実際の使用方法について言及した文献はほとんど見当たらない。

18 世紀後半に入ると、秤量銀貨の鑄造と併行して計数銀貨の鑄造も開始された。明和 2 (1765) 年の明和五匁銀、明和 9 (1772) 年の明和南鐐二朱銀がそれであり、以降計数銀貨の鑄造は本格化した。幕府が計数銀貨の鑄造に踏み切った背景としては、金貨との交換が容易な計数銀貨を流通させることで、主として金貨が使用されていた江戸と秤量銀貨の使用が盛んであった大坂との間における商品流通や支払・送金がスムーズに運ぶよう状況改善を試みた可能性が挙げられる。また銀貨の交換価値を確定させ、金銀相場の安定を図ろうとした面もあったと考えられる。

計数銀貨は、「1 両 = 4 分 = 16 朱」といった貨幣単位の下、金貨との互換性を持つ「金貨」の体系に組み込まれた貨幣として鑄造された²²。支払時の利便性に優れていたこともあり、徐々に使用されるようになり、この影響を受けて丁銀や豆板銀が一般的な交換手段として使用される機会は減少していったとみられる²³。さらに、金貨の海外流出の対応策として実施された安政・万延の改鑄 (1859 年～) は、小額貨幣化された金貨の使用機会増大をもたらし、秤量銀貨を事実上廃貨に等しいものとした。これにより、江戸時代末期において金銀貨総流通量に占める丁銀および豆板銀の割合は 3% に満たない程度にまで大きく低落し、「両」を中心とした金貨本位の制度が確立することとなった²⁴。

もっとも、大坂では、慶応 4 (1868) 年 5 月まで「銀目手形」と呼ばれる銀の重量を記した手形が主に商人間取引の信用手段として用いられた。須賀[2000]は、江戸期最後

²⁰ 江戸時代中期における公定相場は「金 1 両 = 銀 60 匁 (= 225 g) = 錢 4,000 枚」であり、銀 1 g がおよそ錢 17.8 枚に相当していた。

²¹ 高柳眞三、石井良助 (編)、『御觸書寛保集成』、岩波書店、1934 年、914 頁

²² したがって、計数銀貨は丁銀・豆板銀の代用貨幣として発行された訳ではない。

²³ 新保博、『近世の物価と経済発展』、東洋経済新報社、1978 年、311～312 頁

²⁴ 新保博、『近世の物価と経済発展』、東洋経済新報社、1978 年、325 頁

に発行された安政丁銀（1859年鑄造開始）について「銀目手形を中心とする金融・経済体系を維持・保証できる最低限度量の丁銀しか発行しなかった」と述べている²⁵。

他方、全国諸藩においても江戸時代後半には、多くの場合、正貨よりも藩札が領国内における一般的な交換手段として広く利用されていた。実際、江戸期を通じて、秤量銀貨がそのまま交換手段として利用されていたのは、江戸・大坂・京都といった幕府管轄地内か、藩外の者との取引や藩外への旅行などに限られ、各藩内での日常生活ではほとんど藩札と銭貨によって決済されていたようである²⁶。

したがって、江戸時代末期には、「銀目手形」が盛んに使用されていた大坂だけでなく、藩札（銀札）が使用されていた地方でも、秤量銀貨の貨幣としての交換手段機能は失われ、手形、藩札など信用手段の発行保証としてのみ機能していたと考えられる。

(2) 丁銀・豆板銀の小極印が持つ意味

金銀が交換手段としての役割を担い始めた室町時代の頃から、金銀の品質を保証する印として小極印が刻まれるようになった。これらの小極印は、全国的に共通する一定の基準に依拠したものではなく、民間の金屋や銀屋独自の判断基準に基づいた「私極印」として打たれたものであり、市中における貨幣の通用性を証明するのに十分機能したといわれている²⁷。

江戸時代となり、幕府から委託を受けた金座や銀座が、小判や丁銀などを鑄造するようになると、一定の基準を満たしたそれらの金銀貨に極印が打たれるようになった。これらの極印は公権力を伴った「公極印」として位置付けられ、幕府発行貨幣であることを示す目印として信用を保証する役割を果たすようになった。

その後、公極印に加え、私的な極印である小極印が再び多用されていくことになる訳であるが、その経緯についてははっきりしない部分が多い。こうした中、小極印に関する調査・研究としては、中世から近世にかけてその発生・発展・消滅を論じた滝[1992]の研究論文「近世包封金銀考」が挙げられる。滝[1992]は、「公極印」の信頼性が揺らいだ経緯について、次のように述べている。「江戸の幣制は、まず明暦の大火（1657年）によってほころびを生じ始める。この大火によって市中の貨幣に焼金等悪質なものが増大したためである。すると、本来定量貨幣のはずの一両判、一分判も悪貨、『切金』と呼ばれる類のものは、市中では一両、また一分とは扱われず、両替屋等で嫌がられ、取引の際に歩引されることも生じたのである。（中略）銀貨についても

²⁵ 須賀博樹、「安政丁銀発行時における大阪両替商 三井・住友・鴻池家を中心に」、日本歴史学会（編）『日本歴史』第627号、2000年、68頁

²⁶ 鹿野嘉昭、「委託研究からみた藩札の流通実態」、日本銀行金融研究所『金融研究』第15巻第5号、1996年、155頁

²⁷ 滝泰子、「近世包封金銀考」、日本史研究会（編）『日本史研究』、1992年、26頁

金貨同様、悪貨の問題が生じていた。丁銀、豆板銀は秤量貨幣であるが故、量目イコール通用価値になるはずであるが、『切銀』『折銀』『焼銀』『鑄銀』と呼ばれる類の支障が通用を妨げていた。(中略)幕府が通用の基準とする『公極印』も、しかし市中では万能ではなかった。悪貨は通用しないのである。²⁸と指摘し、「両替屋が金貨、銀貨に刻んだ印判、極印は、それらの貨幣が贗物ではないという品質保証のマークの役割を果たすのである。(中略)つまり金座、銀座の『公極印』のみでは市場における貨幣の通用基準を満たすことはできないのである。それ故逆に信頼ある両替屋の『私極印』は貨幣の真贋、通用性を判断する指標として重要視されたのである。」²⁹との見方を示している³⁰。

こうした滝[1992]の考え方にみられるように、明暦の大火による損傷貨幣の発生を端緒として再び価値保証機能を果たすことになった小極印は、その後も「公極印」が打たれた幕府公鑄金銀貨の通用性を保証する印として効力を発揮し続けたと考えられる。大坂の両替商の業務状況等をまとめた、明治36年刊行の『両替商沿革史』には「刻印」に関する次の記述がみられる³¹。

然るに爰に両替商より丁銀又は小判を、屋敷を始め其他一般の取引先へ渡す時、先方より特に所望するものに限り、其眞銀たる事を保証する為めに自家の刻印を打つ事あり。此刻印あるが為めに、直に其両替商の何誰なるを知るのに便宜を有し、随て盗難を防ぐのを一助と為りたり。

ここで述べられた「刻印」は、一般取引の際、取引先の要望に応じ、両替商によって打たれたとされており、本稿で取り上げた小極印と同じものとみられる。

また、江戸時代の両替商間の規則等について記録した「明暦三年來本兩替仲間定書参考」から、金銀貨の取扱いに関する部分を抜き出してみると、

- 一 兩替中、金銀請取渡之砌八互二判形取遣可仕事。寛文中之定二八、帳面二有之手代之印形ヲ取、取遣可仕と云々。
- 一 兩替中包金銀之儀、判鑑取置引合、其上定之通、包ヲ横二切、念ヲ入改、互二取遣可仕事。此前寛文九年には悉開封スル趣二見えたり。(以下略)
- 一 包金印判并銀極印、彌念ヲ入打出し可申事。

²⁸ 滝泰子、「近世包封金銀考」、日本史研究会(編)『日本史研究』、1992年、30頁

²⁹ 滝泰子、「近世包封金銀考」、日本史研究会(編)『日本史研究』、1992年、37頁

³⁰ 貨幣の真正を保証する目印を貨幣に打ち込むといった動きは中国でもみられた。すなわち、19世紀初頭の広州で、スペインドル銀貨が貿易にかかる支払手段として用いられていたが、偽造貨が出現して同銀貨への信用が揺らいだことから、金融業者、銀師、商人等が真正を保証する自己を示す符号を銀貨面上に刻印したのである(宮下忠雄、『近代中国銀兩制度の研究』、有明書房、1990年、358頁)。

³¹ 吉岡源七、『両替商沿革史』、大阪両替商組合、1903年、<黒羽兵治郎(編)、『大阪商業史料集成 第三輯』、清文堂、1937年>所収、123頁

とある³²。このうち3つめの条項をみると、両替商の業務において、銀に極印を打った状況が記されている。

これらの記述を踏まえると、江戸期丁銀の表面にみられる小極印は、銀貨の通用性を保証する印として、両替商により打たれたものと判断して良いであろう。ここで、小極印は両替商の手に渡ったことを示す指標となるとみられ、小極印の数は丁銀が貨幣として両替商の間を転々流通した頻度と比例的関係にあると考えられる³³。そこで本稿では、個別資料ごとの小極印数を数え、丁銀の種類別にその傾向を調べることにした。

なお、前述の滝 [1992]は、『多聞院日記』や『両替年代記』といった史料をベースにしているため、本稿で行った実物資料からのアプローチと併せて考察することが当時の秤量貨幣の流通状況を知るうえで有用と考えられる。

3. 今回調査の内容

(1)調査対象資料

調査対象は、日本銀行が所蔵する江戸期丁銀・豆板銀のうち、調査実施時点で、展示や貸出に供していない資料1,129点とした。これらの資料は、昭和初期の古貨幣収集家として有名であった田中啓文氏が収集したものであり、太平洋戦争末期に日本銀行が譲り受けたものである。

調査対象資料の内訳は、次頁表のとおりである。なお、丁銀や豆板銀の形状については、図1を参照されたい。

³² 三井高維（校註）、『校註両替年代記 原編』、岩波書店、1932年、6～10頁

³³ 大坂における正徳銀発行以降の包銀の通用方法に関し、「三貨図彙」に次の記述がみられる。

銀は百目包也、尤モ包ノ裏ニ、何屋何某包、何屋誰ヘ直渡シト相記ス、右包銀廻リ次第、五軒目ヨリ包主ヘ包ミ替ニ行ク

これをみると、包銀は両替商や商人等の手を経て、5軒目にそれを受け取った者は銀の包主に包み直しを依頼する旨が書かれている（草間直方、「三貨図彙」、1815年、＜瀧本誠一（編）『日本経済叢書 卷二十七』、日本経済叢書刊行会、1916年＞所収、570頁）。ここで、両替商が包銀を開封する際に、内容に問題がないかどうかを精査したうえで小極印を打つといった行為が行われていたことは十分に考えられる。

調査対象資料の内訳

(カッコ内は内数)

資料分類	丁銀	豆板銀	鑄造期間	流通期間	品位	鑄造高
慶長銀	24	44	慶長 6(1601)年 5 月 ～ 元禄 8(1695)年 9 月	慶長 6(1601)年 7 月 ～ 元文 3(1738)年 12 月	80%	1,200,000 貫
元禄銀	7	131	元禄 8(1695)年 9 月 ～ 宝永 3(1706)年 6 月	元禄 8(1695)年 9 月 ～ 享保 7(1722)年 12 月	64%	405,850 貫
宝永二ツ宝銀	3	42	宝永 3(1706)年 6 月 ～ 宝永 7(1710)年 3 月	宝永 3(1706)年 6 月 ～ 享保 7(1722)年 12 月	50%	278,130 貫
宝永永字銀	1	4	宝永 7(1710)年 3 月 ～ 宝永 7(1710)年 4 月	宝永 7(1710)年 3 月 ～ 享保 7(1722)年 12 月	40%	5,836 貫
宝永三ツ宝銀	1	24	宝永 7(1710)年 4 月 ～ 正徳元(1711)年 8 月	宝永 7(1710)年 4 月 ～ 享保 7(1722)年 12 月	32%	370,487 貫
宝永四ツ宝銀	14	18	正徳元(1711)年 8 月 ～ 正徳 2(1712)年 9 月	正徳元(1711)年 8 月 ～ 享保 4(1719)年 12 月	20%	401,240 貫
正徳銀	12	237	正徳 4(1714)年 5 月 ～ 享保 21(1736)年 4 月	正徳 4(1714)年 5 月 ～ 元文 3(1738)年 4 月	80%	331,420 貫
元文銀	38	171	元文元(1736)年 6 月～ 文化 2(1805)年(月は不明)	元文元(1736)年 7 月 ～ 文政 10(1827)年 1 月	46%	525,466 貫
うち 10 面大黒丁銀 [*]	(2)					
うち 12 面大黒丁銀 [*]	(6)					
文政銀	9	75	文政 3(1820)年 6 月 ～ 天保 8(1837)年 12 月	文政 3(1820)年 6 月～ 天保 13(1842)年 12 月	36%	224,982 貫
うち 12 面大黒丁銀 [*]	(1)					
天保銀	18	149	天保 8(1837)年 12 月 ～ 安政 5(1858)年 4 月	天保 8(1837)年 12 月 ～ 慶応 4(1868)年 5 月	26%	182,108 貫
うち 12 面大黒丁銀 [*]	(1)					
安政銀	7	100	安政 6(1859)年 12 月 ～ 慶応元(1865)年 2 月	安政 6(1859)年 12 月 ～ 慶応 4(1868)年 9 月	13%	102,907 貫
合計	134	995				4,028,426 貫

* 大黒丁銀とは、大黒を象った極印が 10 個もしくは 12 個打たれた丁銀をいう。縁起の良い貨幣として、年頭をはじめとした祝賀行事に賞賜目的で用いられることが多く、実際の取引に使用されることは少なかった（遠藤萬川、「十二大黒丁銀及両面大黒小玉銀之由来」、東洋貨幣協会『貨幣』第 106 号、1928 年、1 頁）。

(2)調査方法

資料の重量測定は、電子天秤ばかり（Shinko Denshi HG-2000）を用いて 0.01 g 単位で計測を行った。また、丁銀の表面、裏面、および側面にみられる小極印数は、原則 2 名で相互確認しながら数を確定した。

(3)調査結果

個別資料の重量ならびに小極印数の計測結果は、別表および図 2～9 を参照されたい。

イ．丁銀および豆板銀の重量データ

a. 丁銀

丁銀の重量分布

(大黒丁銀を除く、カッコ内は構成比)

重量範囲	慶長	元禄	宝永	正徳	元文	文政	天保	安政	合計	<参考> 大黒丁銀
100g 未満	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(8.3)	1(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.6)	0(0.0)
100g 以上 125g 未満	2(8.3)	0(0.0)	3(15.8)	5(41.7)	3(10.0)	0(0.0)	1(5.9)	1(14.3)	15(12.1)	0(0.0)
125g " 150g "	4(16.7)	3(42.8)	7(36.8)	3(25.0)	8(26.7)	3(37.5)	7(41.2)	1(14.3)	36(29.0)	3(30.0)
150g " 175g "	9(37.5)	2(28.6)	3(15.8)	1(8.3)	14(46.6)	4(50.0)	6(35.3)	3(42.8)	42(33.9)	6(60.0)
175g " 200g "	8(33.3)	1(14.3)	5(26.3)	2(16.7)	2(6.7)	1(12.5)	2(11.7)	1(14.3)	22(17.7)	1(10.0)
200g "	1(4.2)	1(14.3)	1(5.3)	0(0.0)	2(6.7)	0(0.0)	1(5.9)	1(14.3)	7(5.7)	0(0.0)
合計	24(100.0)	7(100.0)	19(100.0)	12(100.0)	30(100.0)	8(100.0)	17(100.0)	7(100.0)	124(100.0)	10(100.0)
最小値	102.26g	128.03g	100.62g	95.31g	94.05g	141.35g	118.61g	122.75g	94.05g	137.00g
最大値	229.77g	212.88g	222.01g	177.57g	223.14g	191.95g	201.93g	231.29g	231.29g	186.35g
平均値	166.09g	161.97g	155.52g	136.59g	151.71g	156.82g	154.72g	162.76g	155.56g	158.98g

丁銀の重量は平均 155.56 g となっており、銀 1 枚に相当する 43 匁 (= 161.25 g) を若干下回っている。もっとも、一定の重量に集中することなく、大きなばらつきがみられる。

時期ごとの平均重量をみると、宝永、元文、文政および天保丁銀の平均重量が、江戸期丁銀全体の平均重量に近似する傾向をみることができる。また、慶長丁銀や元禄丁銀といった江戸期初期の丁銀、ならびに幕末期の安政丁銀の平均重量はいずれも 160 g 超である一方、宝永期丁銀に比べ品位の大幅な向上をみた正徳丁銀の平均重量が 136.59 g と他の丁銀に比べて明らかに軽いことが特徴的である。

なお、主に慶事に用いられたとみられる大黒丁銀の平均重量も通常の丁銀と大きな差異は認められなかったが、ばらつきの程度ははるかに小さい。

b. 豆板銀

豆板銀の重量分布

(カッコ内は構成比)

重量範囲	慶長	元禄	宝永	正徳	元文	文政	天保	安政	合計
1g 未満	4(9.1)	73(55.7)	16(18.2)	118(49.8)	35(20.5)	3(4.0)	12(8.0)	39(39.0)	300(30.2)
1g 以上 2g 未満	4(9.1)	10(7.7)	1(1.1)	34(14.4)	26(15.2)	6(8.0)	8(5.4)	6(6.0)	95(9.5)
2g " 5g "	6(13.6)	13(9.9)	26(29.6)	13(5.5)	24(14.0)	4(5.3)	18(12.1)	13(13.0)	117(11.8)
5g " 10g "	5(11.4)	24(18.3)	24(27.3)	52(21.9)	35(20.5)	42(56.0)	52(34.9)	18(18.0)	252(25.3)
10g " 20g "	13(29.5)	10(7.6)	16(18.2)	19(8.0)	40(23.4)	19(25.4)	46(30.9)	15(15.0)	178(17.9)
20g " 30g "	9(20.5)	0(0.0)	4(4.5)	1(0.4)	8(4.7)	1(1.3)	10(6.7)	5(5.0)	38(3.8)
30g 以上	3(6.8)	1(0.8)	1(1.1)	0(0.0)	3(1.7)	0(0.0)	3(2.0)	4(4.0)	15(1.5)
合計	44(100.0)	131(100.0)	88(100.0)	237(100.0)	171(100.0)	75(100.0)	149(100.0)	100(100.0)	995(100.0)
最小値	0.47g	0.20g	0.15g	0.07g	0.16g	0.54g	0.45g	0.09g	0.07g
最大値	41.69g	53.02g	41.98g	24.08g	43.33g	20.96g	64.63g	46.50g	64.63g
平均値	13.50g	3.43g	7.06g	3.35g	7.18g	7.89g	9.99g	6.66g	6.47g

豆板銀の重量は、20g 以下のものが全体の 95%程度を占め、このうち 2g 以下の資料が全体の約 4 割を占めている。

これを時期ごとにみると、元禄豆板銀や正徳豆板銀は、2g 以下の資料点数が 6 割を超える一方、宝永、文政および天保豆板銀は 2 割未満となるなど、かなりの差異がみられる。

ロ. 丁銀の小極印数データ

丁銀の小極印数分布

(大黒丁銀を除く、カッコ内は構成比)

小極印数	慶長	元禄	宝永	正徳	元文	文政	天保	安政	合計	<参考> 大黒丁銀
0 個	0(0.0)	0(0.0)	4(21.0)	2(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	7(41.2)	6(85.7)	19(15.3)	4(40.0)
1~ 2 個	1(4.2)	2(28.6)	8(42.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(12.5)	4(23.6)	1(14.3)	17(13.7)	1(10.0)
3~ 5 個	0(0.0)	1(14.3)	3(15.8)	1(8.3)	0(0.0)	3(37.5)	3(17.6)	0(0.0)	11(8.9)	4(40.0)
5~ 10 個	6(25.0)	3(42.8)	3(15.8)	2(16.7)	2(6.7)	3(37.5)	3(17.6)	0(0.0)	22(17.7)	1(10.0)
10~ 20 個	6(25.0)	1(14.3)	1(5.3)	2(16.7)	3(10.0)	1(12.5)	0(0.0)	0(0.0)	14(11.3)	0(0.0)
20~ 30 個	5(20.8)	0(0.0)	0(0.0)	5(41.6)	4(13.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	14(11.3)	0(0.0)
30~ 50 個	4(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	12(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	16(12.9)	0(0.0)
50 個以上	2(8.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(30.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	11(8.9)	0(0.0)
合計	24(100.0)	7(100.0)	19(100.0)	12(100.0)	30(100.0)	8(100.0)	17(100.0)	7(100.0)	124(100.0)	10(100.0)
1 資料当たり平均	21.4 個	5.3 個	2.7 個	14.3 個	40.9 個	5.5 個	1.9 個	0.3 個	16.8 個	2.1 個
流通年数	82.0 年*	27.3 年	16.6 年	24.1 年	90.6 年	22.6 年	30.4 年	8.8 年		
流通期間 10 年当たり平均	2.6 個	1.9 個	1.6 個	5.9 個	4.5 個	2.4 個	0.6 個	0.3 個		

* 慶長丁銀については、小極印が打たれるようになったとみられる明暦 3 (1657) 年から流通停止となるまでの 82 年を対象として、10 年間当たりの小極印数を算出。

1 資料当たり平均の小極印数をみると、元文丁銀（40.9 個）や慶長丁銀（21.4 個）に比較的多く打たれていることがわかる。次いで正徳丁銀（14.3 個）となるが、それ以外の丁銀については 10 個以下となり、幕末期に発行された丁銀は小極印数が非常に少なく、特に安政丁銀は皆無の資料がほとんどであった。なお、江戸期初期に切遣いされたとみられる慶長丁銀の切断片について小極印数を調べたところ、皆無であった。

また、各丁銀の流通期間 10 年当たりの小極印数をみると、正徳丁銀および元文丁銀が 5 個前後と多い一方、天保丁銀や安政丁銀は 1 個に満たないことがわかった。

なお、豆板銀については、小極印が打たれた資料が存在するものの、極小の資料や表面が摩耗した資料など、小極印を厳密に特定できないものが多くみられたため、今回調査対象から外した。

4 . 調査結果からみた若干の考察

(1)重量

今回の重量計測の調査結果において、江戸期丁銀全種に共通することは、どれも一定の重量に集中することなく、相当のばらつきがみられることであった。厳密な成形作業が行われた様子がみられないことから、重量の調整は特に行われなかったと推測でき、丁銀は包封形態による使用を想定して、ばらつきが生じることを前提に鑄造されたものとみられる³⁴。さらに、最大のものの重量（231.29 g）が最小のもの（94.05 g）の 2 倍を超えていることを踏まえると、平均的な重量を持つ丁銀以外に、大きめのもの、または小さめのものが、理由は不明ながら意図的に鑄造されていたと考えられよう。

丁銀の平均重量（大黒丁銀を除く）は 155.56 g であった。これに若干の豆板銀を加えることで重量を 43 匁（= 161.25 g）に調整することは容易であるため、銀 43 匁を銀 1 枚とする「枚包」の形でも使用されたとの文献上の記録を裏付ける形となっている。なお、重量が 43 匁を超えるものが見受けられるのは、「五百目包」、「百目包」、「十枚包」といった、まとまった単位での使用が行われていたためではないかと思われる。

次に、慶長丁銀の平均重量をみると、他の丁銀に比べて重く、文献上で当時の金 1 両に相当すると示された 42、3 匁前後および 50 匁前後の重量範囲にまとまりをみることができる。この結果を踏まえると、幕府が慶長丁銀の重量を、幕府公定相場の金 1 両とほぼ同等の価値になるように仕向けた可能性が考えられる。

また、正徳丁銀の平均重量が 136.59 g と、他の丁銀に比べ著しく軽いことについては、正徳丁銀の品位が慶長丁銀と同様の 80%に引き上げられたことに深い関係があるとみられる。すなわち、正徳 4（1714）年に、幕府は正徳の改鑄を実施（品位を宝永

³⁴ 丁銀は丁銀形の窪みを 6 つ配した「船」と呼ばれる箱に溶かした銀を流し込んで鑄造されたと文献史料に記されている。また豆板銀も同様の製法によったとみられている。

四ツ宝銀の20%から80%に引上げ)するとともに「新古金銀割合之次第」という触書を出し、新旧貨幣の引替および通用上の割合を定めた。同触書において、正徳銀1貫目は、それぞれ慶長銀1貫目、元禄銀1貫250目、宝永二ツ宝銀1貫538目4分4厘、宝永永字銀・三ツ宝銀・四ツ宝銀はいずれも2貫目と、同価とする旨規定されている³⁵。このうち、正徳丁銀と元禄丁銀との今回調査結果における平均重量の比率をみると、正徳丁銀1に対し、元禄丁銀は1.19と、同触書で規定された引替・通用割合1:1.25に近い数字になっており、品位の高い正徳丁銀は、低品位の元禄丁銀等との交換比率を意識して軽量化された可能性を見出せる。

なお、この正徳銀発行時を除けば、秤量銀貨改鑄はいずれも品位が引き下げられており、幕府は改鑄による差益の一部を、旧貨幣の所有者に「増歩」と呼ばれるプレミアムを付加することで還元し、高品位の旧銀貨の回収を促進しようとして試みている。丁銀は秤量貨幣であり、増歩を支払う際にも計量が行われたと考えられることから、丁銀1個当たりの重量を厳密に調整する必要はないが、重量調整の手間を軽減するために、品位の低い新貨幣の重量を増やした可能性はあり、事実、元文・文政・安政各丁銀にはそうした傾向が認められる。特に正徳丁銀に比べ、品位を大きく引き下げて(80%→46%)発行された元文丁銀の平均重量(151.71g)が増加しているのは、元文銀の発行後すぐに5割の増歩を付加する(正徳銀1に対して1.5倍の重量の元文銀と交換・通用させる)旨を幕府が定めていることからすると、元文銀の流通が促進されるよう、増歩分の一部を元文丁銀の重量に予め付加する形で鑄造するといった実務的な工夫が施された可能性を指摘できる。

他方、豆板銀の重量は、20g以下のものが全体の95%程度を占める中、2gから10gの資料が全体の約37%、2g以下が約40%を占めており、丁銀と同様、ばらつきがみられる。

個別にみると、慶長豆板銀は1g未満の資料の占める割合が、他の時期に比べ非常に低い。このことは江戸時代初期においては、豆板銀が包銀の重量調整用に用いられるよりも、切遣い銀の代用としての役割を担い、そのまま裸銀通用したことを表しているとみられる。

また、元禄期から元文期に鑄造されたものには、5g以下の軽量の豆板銀が多くみられる。このことは、豆板銀が重量調整用としての用途に加え、これまで考えられた以上に、日常の小口取引でも使用されていた可能性を示すとも考えられる³⁶。前述のとおり、豆板銀の使用状況について述べた文献はほとんど見当たらないが、瀬戸[1973]は、近世当時の物語や草紙等に記載された支払時の貨幣単位から豆板銀の使用方法を類推し、

³⁵ 草間直方、「三貨図彙」、1815年、<瀧本誠一(編)『日本経済叢書 卷二十七』、日本経済叢書刊行会、1916年>所収、558頁

³⁶ これは、1匁(=3.75g)未満の豆板銀の存在がこれまであまり認識されていなかったことを前提に、1分(=0.375g)や5分(=1.875g)前後の小額面の銀札が流通しやすい環境があったとする従来の多数説を修正するものである。ただし、この点については、実際の使用状況についてさらなる研究が必要である。

「物品を買う場合には、(中略)ほとんど豆板銀を銭両替で銭に替えてから使ったようだけれども、(中略)今日いうサービスへの支払には豆板銀がそのまま通用したようである」と述べている³⁷。今回の調査結果はこうした見方を支持するものといえるかもしれない。

(2)小極印

流通期間 10 年当たりの小極印数について、正徳丁銀および元文丁銀が 5 個前後と他の丁銀に比べ多いことが判明し、これらが流通(1714~1827 年)していた江戸時代中期に丁銀が頻繁に両替商や商人の間を転々流通していた可能性を指摘できる。一般に、当該時期は商品流通の拡大を背景として経済活動が活発になったといわれており、その決済手段として丁銀が、包銀の形態を含め、活発に使用されたことが考えられるが、上記の結果はこうした時代背景とも合致する。

一方、天保丁銀および安政丁銀は、流通期間 10 年当たり小極印数が 1 個に満たないことがわかった。この結果は、幕末期には丁銀がそれ以前のように使用されなくなったことを示しているとみられる。この要因としては、江戸時代後期にかけて利便性の高さから計数貨幣への移行が進み、秤量貨幣である丁銀や豆板銀が転々流通した結果として両替商が品位を確認する頻度が大きく低下し、小極印が押されなくなったことが考えられる。

また、調査結果から、江戸時代初期に切遣いされたとみられる慶長丁銀の切断片には小極印が皆無であることがわかった。これは江戸時代初期においては、銀座が打刻した公極印そのものが信用され、小極印がなくとも問題なく流通していたこと、ならびに元和年間(1615~1624)に発出されたとみられる幕府の切遣い禁止の命令が、十分な強制力を有しており、これ以降、江戸期を通じて丁銀の切断片は交換手段としての機能を失っていた可能性を示唆していると考えられ、「明暦 3(1657)年の大火以降に、傷んだ貨幣の価値を保証する印として、民間両替商の手により小極印が押されるようになった」とする滝[1992]³⁸の説を裏付けるものといえよう³⁹。

なお、大黒丁銀に打たれた小極印の数は、どの時期に鑄造されたものをみても、同時期における通常の丁銀と比べ、明らかに少ない。これは、大黒丁銀がほとんど両替商間で取引されていなかったことを表し、同丁銀が主に賞賜目的で使用されていたことを裏付けるものと推測される。

³⁷ 瀬戸浩平、「豆板銀・銭両替と遊里と 豆板銀は実際にどう使われたか」、『ボナンザ』2月号、頌文社、1973年、18頁

³⁸ 滝泰子、「近世包封金銀考」、日本史研究会(編)『日本史研究』、1992年、30~37頁

³⁹ もっとも、この点については、切遣いを禁止した幕府による命令がどのようなものであったかを確認する必要がある。

5. 今後の課題

最後に、今後の課題として残されている点を指摘することとしたい。

まず、今回の調査では、日本銀行金融研究所で所蔵する丁銀・豆板銀のみを対象としたが、これらは一貨幣収集家によって収集されたものであるため、秤量銀貨の実際の使用状況を自然な形で反映していない可能性がある。このため、今後、実物資料の調査が他機関においても行われ、重量や小極印数に関するデータがさらに蓄積されることが望まれる。そして、それらの資料データを加え改めて統計分析を行うことにより、さらに多くの新知見を得ることができるものと思われる⁴⁰。

また、小極印に関する研究については、文献等を通じ、両替商ごとの小極印特定作業の実現が望まれる。すなわち、個別小極印の形状とそれぞれの個数を調べることにより、両替商間における丁銀や豆板銀の流通状況が把握できるであろう。江戸期秤量銀貨の流通実態については、「東の金遣い、西の銀遣い」といわれるように、江戸と大坂との間では大きな違いがあったとみられるが、こうした見方を実物資料から裏付けるだけでなく、江戸期における商品流通の実態を知る手がかりも得られるかもしれない。また、江戸時代中期から後期にかけ、「銀目手形制度」と呼ばれる信用制度が大坂の両替商を核に発達した訳であるが、これは使用時に不便さを伴う丁銀や豆板銀を両替商が預かり、これを保証として手形を発行するものである。例えば、江戸中期以降に発行された丁銀の表面に打たれた小極印について、大坂を本拠地とする両替商のものが多くみられるようであれば、当該丁銀は銀目手形の発行保証として用いられた可能性が高かったとも考えられ、信用制度との結びつきを探るうえでの貴重な研究資料となると思われる。

いずれにしても、江戸時代に丁銀や豆板銀といった秤量銀貨が貨幣として、どのような機能を果たしていたか、またその流通実態はどうであったか、という点を解明するために、本稿がその一助となることを期待したい。

以上

⁴⁰ 例えば、本行所蔵丁銀における各時期ごとの重量のばらつき状況を示すと、文政丁銀の重量はばらつきが小さい一方、安政丁銀はばらつきが大きい状況が窺える。仮に、他の機関における重量データでも同様の結果が得られるようであれば、丁銀の平均重量だけでなく、重量のばらつきについても鑄造時期により差異がみられることになる。こうした点が確認できれば、寛政12(1800)年の銀座肅正を経て鑄造管理体制が厳格化されたことが文政丁銀の重量のばらつき縮小に繋がったとか、安政丁銀は皇居や江戸城の炎上に伴う造営費支払といった特別な目的のために銀目手形など信用手段の発行保証として鑄造され、一般使用は当初から想定されていなかったといった推論が、小極印の少なさと相俟って成り立つのかもしれない。

参考文献

- 石井良助・服藤弘司（共編）、『幕末御触書集成 第四巻』、岩波書店、1993年
- 岩田重雄、「近世における質量標準の変化」、日本計量史学会『計量史研究』Vol.1 No.1、1979年
- 遠藤佐々喜、「幕末幣制改革の批判と当時の金貨濫出の疑問」、社会経済史学会『社会経済史学』第1巻第1号、1935年
- 遠藤萬川、「十二大黒丁銀及両面大黒小玉銀之由来」、『貨幣』第106号、東洋貨幣協会、1928年
- 大蔵省、『大日本貨幣史 本篇 三貨部』、1925年
- 大阪商法会議所、「手形流通之儀二付願」、黒羽兵治郎（編）『大阪商業史料集成』第四輯、119～134頁
- 勝海舟（編）、「貨幣通考」、『吹塵録』第14冊、大蔵省、1890年
- 、「銀位并銀吹方手続書」、『吹塵録』第11冊、大蔵省、1890年
- 草間直方、「三貨図彙」、1815年、<瀧本誠一（編）『日本経済叢書 卷二十七』、日本経済叢書刊行会、1916年>所収
- 小葉田淳、『日本貨幣流通史』、刀江書院、1969年
- 鹿野嘉昭、「委託研究からみた藩札の流通実態」、日本銀行金融研究所『金融研究』第15巻第5号、1996年
- 新保博、『近世の物価と経済発展』、東洋経済新報社、1978年
- 須賀博樹、「安政丁銀発行時における大阪両替商 三井・住友・鴻池家を中心に」、日本歴史学会（編）『日本歴史』第627号、2000年
- 瀬戸浩平、「豆板銀・銭両替と遊里と 豆板銀は実際にどう使われたか」、『ポナンザ』2月号、頌文社、1973年
- 高柳眞三、石井良助（編）、『御觸書寛保集成』、岩波書店、1934年
- 田谷博吉、『近世銀座の研究』、吉川弘文館、1963年
- 、「幕末期関西の流通貨幣 鴻池与三吉家文書の紹介を兼ねて」、『大阪府立大学歴史研究』第14号、1972年
- 日本銀行調査局、『図録 日本の貨幣 2』、東洋経済新報社、1973年
- 、「図録 日本の貨幣 3』、東洋経済新報社、1974年
- 、「図録 日本の貨幣 4』、東洋経済新報社、1973年
- 速水融、「経済社会の成立とその特質 江戸時代社会経済史への視点」、社会経済史学会（編）『新しい江戸時代史像を求めて その社会経済史的接近』、東洋経済新報社、1977年
- 久光重平、『日本貨幣物語』、毎日新聞社、1976年
- 平塚聰、「第六回みちのく合同古銭大会記念発表 古金銀貨に見られる両替商極印」、青森貨幣研究会『会誌みちのく』第30号、1991年
- 松好貞夫、『日本両替金融史論』、文藝春秋社、1932年

- 三井高維（校註）、「明曆三年來兩替仲間定書参考」、『校註兩替年代記原編』、
岩波書店、1932年
、『新稿兩替年代記關鍵 卷二考證篇』、岩波書店、1933年
- 宮下忠雄、『近代中国銀兩制度の研究』、有明書房、1990年
- 宮本又郎、「徳川時代の市場と貨幣」、社会経済史学会（編）『社会経済史学の課題と
展望』、1992年
- 安国良一、「近世社会と貨幣に関する断章」、『新しい歴史学のために』第191号、
1988年
- 山口健次郎、「江戸期包金銀について」、日本銀行金融研究所 Discussion Paper 96-J-3、
1996年
- 吉岡源七、『兩替商沿革史』、大阪兩替商組合、1903年、<黒羽兵治郎（編）
、『大阪商業史料集成 第三輯』、清文堂、1937年>所収
- 吉野俊彦、『通貨の知識』、日本経済新聞社、1976年

以上

①慶長丁銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)	小極印数	表	裏	側面
1	慶長丁銀	II AIT'b1- 1	145.62	6	6	0	0
2	慶長丁銀	II AIT'b1- 3	175.30	1	1	0	0
3	慶長丁銀	II AIT'b1- 4	140.10	18	10	4	4
4	慶長丁銀	II AIT'b1- 7	165.67	9	5	1	3
5	慶長丁銀	II AIT'b1- 8	180.16	24	15	5	4
6	慶長丁銀	II AIT'b1- 9	140.03	29	17	6	6
7	慶長丁銀	II AIT'b1-11	147.87	8	8	0	0
8	慶長丁銀	II AIT'b1-12	169.51	13	5	3	5
9	慶長丁銀	II AIT'b1-13	192.39	56	27	15	14
10	慶長丁銀	II AIT'b1-14	163.18	16	10	3	3
11	慶長丁銀	II AIT'b1-15	171.95	5	2	2	1
12	慶長丁銀	II AIT'b1-16	196.40	32	18	3	11
13	慶長丁銀	II AIT'b1-17	229.77	24	17	2	5
14	慶長丁銀	II AIT'b1-19	172.78	54	37	5	12
15	慶長丁銀	II AIT'b1-20	166.48	22	11	6	5
16	慶長丁銀	II AIT'b1-21	174.66	45	25	13	7
17	慶長丁銀	II AIT'b1-22	177.36	43	30	5	8
18	慶長丁銀	II AIT'b1-23	183.44	15	5	7	3
19	慶長丁銀	II AIT'b1-24	159.16	32	18	9	5
20	慶長丁銀	II AIT'b1-26	155.30	22	13	4	5
21	慶長丁銀	II AIT'b1-28	181.28	5	4	1	0
22	慶長丁銀	II AIT'b1-29	189.66	5	5	0	0
23	慶長丁銀	II AIT'b1-30	102.26	10	8	2	0
24	慶長丁銀	II AIT'b1-31	105.74	19	8	3	8

②元禄丁銀

25	元禄丁銀	II AIT'b3- 1	212.88	5	3	1	1
26	元禄丁銀	II AIT'b3- 2	139.11	3	2	0	1
27	元禄丁銀	II AIT'b3- 4	186.97	11	3	0	8
28	元禄丁銀	II AIT'b3- 6	173.12	8	3	2	3
29	元禄丁銀	II AIT'b3- 7	128.78	1	1	0	0
30	元禄丁銀	II AIT'b3- 8	164.88	2	0	0	2
31	元禄丁銀	II AIT'b3- 9	128.03	7	7	0	0

③宝永二ツ宝丁銀

32	宝永二ツ宝丁銀	II AIT'b5- 1	222.01	0	0	0	0
33	宝永二ツ宝丁銀	II AIT'b5- 3	181.77	3	0	0	3
34	宝永二ツ宝丁銀	II AIT'b5- 4	149.38	0	0	0	0

④宝永永字丁銀

35	宝永永字丁銀	II AIT'b7- 2	129.09	4	4	0	0
----	--------	--------------	--------	---	---	---	---

⑤宝永三ツ宝丁銀

36	宝永三ツ宝丁銀	II AIT'b9- 2	178.88	3	0	0	3
----	---------	--------------	--------	---	---	---	---

⑥宝永四ツ宝丁銀

37	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 1	109.33	9	5	0	4
38	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 2	148.90	1	1	0	0
39	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 3	135.26	0	0	0	0
40	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 4	164.71	1	1	0	0
41	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 6	127.97	1	1	0	0
42	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 7	145.04	2	2	0	0
43	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 8	195.35	6	4	0	2
44	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11- 9	183.26	1	1	0	0
45	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11-10	187.59	1	0	1	0
46	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11-11	122.54	1	1	0	0
47	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11-12	100.62	0	0	0	0
48	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11-13	162.13	10	5	0	5
49	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11-14	167.93	2	2	0	0
50	宝永四ツ宝丁銀	II AIT'b11-17	143.10	7	2	2	3

⑦正徳丁銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)	小極印数	表	裏	側面
51	正徳丁銀	II AIT'b14- 1	121.76	29	15	9	5
52	正徳丁銀	II AIT'b14- 2	177.57	12	10	0	2
53	正徳丁銀	II AIT'b14- 3	123.75	9	6	0	3
54	正徳丁銀	II AIT'b14- 4	119.68	7	4	0	3
55	正徳丁銀	II AIT'b14- 5	122.50	3	0	2	1
56	正徳丁銀	II AIT'b14- 6	175.69	0	0	0	0
57	正徳丁銀	II AIT'b14- 7	162.53	23	15	1	7
58	正徳丁銀	II AIT'b14- 8	141.87	24	15	5	4
59	正徳丁銀	II AIT'b14- 9	133.69	18	12	2	4
60	正徳丁銀	II AIT'b14-10	140.48	0	0	0	0
61	正徳丁銀	II AIT'b14-12	95.31	24	17	3	4
62	正徳丁銀	II AIT'b14-13	124.20	22	13	2	7

⑧元文丁銀

63	元文丁銀	II AIT'b16- 1	157.32	49	25	3	21
64	元文丁銀	II AIT'b16- 2	171.79	55	24	12	19
65	元文丁銀	II AIT'b16- 3	162.51	8	5	2	1
66	元文丁銀	II AIT'b16- 4	154.04	76	31	6	39
67	元文丁銀	II AIT'b16- 5	132.00	55	21	12	22
68	元文丁銀	II AIT'b16- 6	110.42	41	18	6	17
69	元文丁銀	II AIT'b16- 7	195.22	65	34	12	19
70	元文丁銀	II AIT'b16- 8	151.11	43	17	12	14
71	元文丁銀	II AIT'b16- 9	168.80	44	21	10	13
72	元文丁銀	II AIT'b16-10	179.14	61	24	8	29
73	元文丁銀	II AIT'b16-11	159.44	50	24	2	24
74	元文丁銀	II AIT'b16-12	150.80	72	28	20	24
75	元文丁銀	II AIT'b16-13	156.34	38	19	3	16
76	元文丁銀	II AIT'b16-14	151.04	43	14	7	22
77	元文丁銀	II AIT'b16-15	149.23	58	26	13	19
78	元文丁銀	II AIT'b16-16	151.57	49	26	7	16
79	元文丁銀	II AIT'b16-17	111.41	42	27	1	14
80	元文丁銀	II AIT'b16-18	155.29	27	13	6	8
81	元文丁銀	II AIT'b16-19	223.14	32	16	8	8
82	元文丁銀	II AIT'b16-20	144.01	43	22	2	19
83	元文丁銀	II AIT'b16-21	149.49	10	4	1	5
84	元文丁銀	II AIT'b16-22	156.35	28	21	2	5
85	元文丁銀	II AIT'b16-23	161.97	5	1	2	2
86	元文丁銀	II AIT'b16-24	129.97	45	26	7	12
87	元文丁銀	II AIT'b16-25	107.68	45	26	2	17
88	元文丁銀	II AIT'b16-26	142.12	26	12	4	10
89	元文丁銀	II AIT'b16-27	94.05	12	5	0	7
90	元文丁銀	II AIT'b16-28	133.71	60	26	7	27
91	元文丁銀	II AIT'b16-30	139.11	19	15	1	3
92	元文丁銀	II AIT'b16-31	202.12	25	16	2	7
93	元文丁銀(大黒)	II AIT'b16-32	167.08	2	2	0	0
94	元文丁銀("	II AIT'b16-33	147.46	6	5	0	1
95	元文丁銀("	II AIT'b16-35	156.74	0	0	0	0
96	元文丁銀("	II AIT'b16-36	146.29	3	3	0	0
97	元文丁銀("	II AIT'b16-37	161.48	3	2	0	1
98	元文丁銀("	II AIT'b16-38	162.09	4	3	0	1
99	元文丁銀("	II AIT'b16-39	137.00	3	1	0	2
100	元文丁銀("	II AIT'b16-40	166.57	0	0	0	0

⑨文政丁銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)	極印	表	裏	側面
101	文政丁銀(大黒)	II AIT`b20- 1	158.76	0	0	0	0
102	文政丁銀	II AIT`b20- 3	191.95	4	1	3	0
103	文政丁銀	II AIT`b20- 4	141.35	3	3	0	0
104	文政丁銀	II AIT`b20- 6	149.34	1	0	0	1
105	文政丁銀	II AIT`b20- 7	143.95	4	4	0	0
106	文政丁銀	II AIT`b20- 8	154.00	9	5	1	3
107	文政丁銀	II AIT`b20- 9	163.84	7	6	1	0
108	文政丁銀	II AIT`b20-11	149.69	11	7	3	1
109	文政丁銀	II AIT`b20-12	160.46	5	1	3	1

⑩天保丁銀

110	天保丁銀	II AIT`b25- 2	154.58	2	2	0	0
111	天保丁銀	II AIT`b25- 3	162.27	4	0	2	2
112	天保丁銀	II AIT`b25- 4	154.79	1	1	0	0
113	天保丁銀	II AIT`b25- 5	147.81	0	0	0	0
114	天保丁銀	II AIT`b25- 6	201.93	5	4	0	1
115	天保丁銀	II AIT`b25- 7	191.82	2	2	0	0
116	天保丁銀	II AIT`b25- 8	133.66	0	0	0	0
117	天保丁銀	II AIT`b25- 9	144.66	4	1	2	1
118	天保丁銀	II AIT`b25-10	153.20	0	0	0	0
119	天保丁銀	II AIT`b25-11	118.61	0	0	0	0
120	天保丁銀	II AIT`b25-12	136.79	5	2	2	1
121	天保丁銀	II AIT`b25-13	131.09	0	0	0	0
122	天保丁銀	II AIT`b25-14	173.49	0	0	0	0
123	天保丁銀	II AIT`b25-15	138.34	0	0	0	0
124	天保丁銀	II AIT`b25-17	195.29	2	2	0	0
125	天保丁銀	II AIT`b25-18	161.58	3	0	1	2
126	天保丁銀	II AIT`b25-19	130.36	5	5	0	0
127	天保丁銀(大黒)	II AIT`b25-20	186.35	0	0	0	0

⑪安政丁銀

128	安政丁銀	II AIT`b30- 1	128.65	0	0	0	0
129	安政丁銀	II AIT`b30- 2	155.05	0	0	0	0
130	安政丁銀	II AIT`b30- 3	151.55	0	0	0	0
131	安政丁銀	II AIT`b30- 4	122.75	0	0	0	0
132	安政丁銀	II AIT`b30- 5	188.97	0	0	0	0
133	安政丁銀	II AIT`b30- 6	231.29	2	2	0	0
134	安政丁銀	II AIT`b30- 9	161.08	0	0	0	0

⑫慶長豆板銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
1	慶長豆板銀	II AIT`b2- 1	41.69
2	慶長豆板銀	II AIT`b2- 3	26.83
3	慶長豆板銀	II AIT`b2- 4	25.95
4	慶長豆板銀	II AIT`b2- 5	14.12
5	慶長豆板銀	II AIT`b2- 6	4.67
6	慶長豆板銀	II AIT`b2- 7	10.69
7	慶長豆板銀	II AIT`b2- 8	16.43
8	慶長豆板銀	II AIT`b2-10	29.20
9	慶長豆板銀	II AIT`b2-11	36.90
10	慶長豆板銀	II AIT`b2-12	12.73
11	慶長豆板銀	II AIT`b2-13	16.97
12	慶長豆板銀	II AIT`b2-14	13.59
13	慶長豆板銀	II AIT`b2-16	16.83
14	慶長豆板銀	II AIT`b2-17	21.49
15	慶長豆板銀	II AIT`b2-18	20.75
16	慶長豆板銀	II AIT`b2-19	10.51
17	慶長豆板銀	II AIT`b2-20	7.63
18	慶長豆板銀	II AIT`b2-21	9.80
19	慶長豆板銀	II AIT`b2-22	5.36
20	慶長豆板銀	II AIT`b2-23	3.77
21	慶長豆板銀	II AIT`b2-24	1.85
22	慶長豆板銀	II AIT`b2-25	4.04
23	慶長豆板銀	II AIT`b2-26	22.04
24	慶長豆板銀	II AIT`b2-27	12.82
25	慶長豆板銀	II AIT`b2-28	24.00
26	慶長豆板銀	II AIT`b2-29	16.10
27	慶長豆板銀	II AIT`b2-31	29.28
28	慶長豆板銀	II AIT`b2-32	23.29
29	慶長豆板銀	II AIT`b2-33	14.58
30	慶長豆板銀	II AIT`b2-34	8.16
31	慶長豆板銀	II AIT`b2-35	15.93
32	慶長豆板銀	II AIT`b2-36	11.67
33	慶長豆板銀	II AIT`b2-38	40.02
34	慶長豆板銀	II AIT`b2-53	3.71
35	慶長豆板銀	II AIT`b2-54	2.01
36	慶長豆板銀	II AIT`b2-55	2.19
37	慶長豆板銀	II AIT`b2-56	1.90
38	慶長豆板銀	II AIT`b2-57	1.12
39	慶長豆板銀	II AIT`b2-58	0.85
40	慶長豆板銀	II AIT`b2-59	0.74
41	慶長豆板銀	II AIT`b2-60	0.72
42	慶長豆板銀	II AIT`b2-61	1.04
43	慶長豆板銀	II AIT`b2-62	0.47
44	慶長豆板銀	II AIT`b2-63	9.63

⑬元禄豆板銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
45	元禄豆板銀	II AIT`b4- 2	53.02
46	元禄豆板銀	II AIT`b4- 4	8.69
47	元禄豆板銀	II AIT`b4- 5	5.53
48	元禄豆板銀	II AIT`b4- 6	2.53
49	元禄豆板銀	II AIT`b4- 8	13.00
50	元禄豆板銀	II AIT`b4- 9	4.21
51	元禄豆板銀	II AIT`b4-10	12.28
52	元禄豆板銀	II AIT`b4-11	3.99
53	元禄豆板銀	II AIT`b4-12	11.73
54	元禄豆板銀	II AIT`b4-13	7.72
55	元禄豆板銀	II AIT`b4-14	8.45
56	元禄豆板銀	II AIT`b4-15	12.06
57	元禄豆板銀	II AIT`b4-16	13.50
58	元禄豆板銀	II AIT`b4-17	6.32
59	元禄豆板銀	II AIT`b4-19	9.64
60	元禄豆板銀	II AIT`b4-20	13.01
61	元禄豆板銀	II AIT`b4-21	4.90
62	元禄豆板銀	II AIT`b4-22	12.02
63	元禄豆板銀	II AIT`b4-23	15.26
64	元禄豆板銀	II AIT`b4-24	13.33
65	元禄豆板銀	II AIT`b4-25	7.71
66	元禄豆板銀	II AIT`b4-26	4.72
67	元禄豆板銀	II AIT`b4-27	7.89
68	元禄豆板銀	II AIT`b4-28	5.88
69	元禄豆板銀	II AIT`b4-29	0.49
70	元禄豆板銀	II AIT`b4-30	0.45
71	元禄豆板銀	II AIT`b4-31	0.50
72	元禄豆板銀	II AIT`b4-32	0.54
73	元禄豆板銀	II AIT`b4-33	0.55
74	元禄豆板銀	II AIT`b4-34	0.32
75	元禄豆板銀	II AIT`b4-35	0.48
76	元禄豆板銀	II AIT`b4-36	0.43
77	元禄豆板銀	II AIT`b4-37	0.54
78	元禄豆板銀	II AIT`b4-38	0.57
79	元禄豆板銀	II AIT`b4-39	0.74
80	元禄豆板銀	II AIT`b4-40	0.27
81	元禄豆板銀	II AIT`b4-41	0.30
82	元禄豆板銀	II AIT`b4-42	0.37
83	元禄豆板銀	II AIT`b4-43	0.55
84	元禄豆板銀	II AIT`b4-44	0.71
85	元禄豆板銀	II AIT`b4-45	0.30
86	元禄豆板銀	II AIT`b4-46	0.59
87	元禄豆板銀	II AIT`b4-47	0.65
88	元禄豆板銀	II AIT`b4-48	0.43
89	元禄豆板銀	II AIT`b4-49	0.37
90	元禄豆板銀	II AIT`b4-50	1.23
91	元禄豆板銀	II AIT`b4-51	0.47
92	元禄豆板銀	II AIT`b4-52	0.48
93	元禄豆板銀	II AIT`b4-53	0.51
94	元禄豆板銀	II AIT`b4-54	0.74
95	元禄豆板銀	II AIT`b4-55	0.51
96	元禄豆板銀	II AIT`b4-56	1.46
97	元禄豆板銀	II AIT`b4-57	0.72
98	元禄豆板銀	II AIT`b4-58	0.77
99	元禄豆板銀	II AIT`b4-59	0.65

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
100	元禄豆板銀	II AIT`b4-60	1.37
101	元禄豆板銀	II AIT`b4-61	0.24
102	元禄豆板銀	II AIT`b4-62	0.47
103	元禄豆板銀	II AIT`b4-63	0.88
104	元禄豆板銀	II AIT`b4-64	0.75
105	元禄豆板銀	II AIT`b4-65	0.55
106	元禄豆板銀	II AIT`b4-66	0.38
107	元禄豆板銀	II AIT`b4-67	0.71
108	元禄豆板銀	II AIT`b4-68	0.43
109	元禄豆板銀	II AIT`b4-69	0.43
110	元禄豆板銀	II AIT`b4-70	0.50
111	元禄豆板銀	II AIT`b4-71	0.25
112	元禄豆板銀	II AIT`b4-72	0.92
113	元禄豆板銀	II AIT`b4-73	0.58
114	元禄豆板銀	II AIT`b4-74	0.52
115	元禄豆板銀	II AIT`b4-75	0.30
116	元禄豆板銀	II AIT`b4-76	0.24
117	元禄豆板銀	II AIT`b4-77	0.48
118	元禄豆板銀	II AIT`b4-78	0.44
119	元禄豆板銀	II AIT`b4-79	0.21
120	元禄豆板銀	II AIT`b4-80	0.35
121	元禄豆板銀	II AIT`b4-81	0.47
122	元禄豆板銀	II AIT`b4-82	0.43
123	元禄豆板銀	II AIT`b4-83	0.39
124	元禄豆板銀	II AIT`b4-84	0.40
125	元禄豆板銀	II AIT`b4-85	0.53
126	元禄豆板銀	II AIT`b4-86	0.31
127	元禄豆板銀	II AIT`b4-87	0.34
128	元禄豆板銀	II AIT`b4-88	0.36
129	元禄豆板銀	II AIT`b4-89	0.54
130	元禄豆板銀	II AIT`b4-90	0.42
131	元禄豆板銀	II AIT`b4-91	0.59
132	元禄豆板銀	II AIT`b4-92	0.47
133	元禄豆板銀	II AIT`b4-93	0.53
134	元禄豆板銀	II AIT`b4-94	1.78
135	元禄豆板銀	II AIT`b4-95	1.64
136	元禄豆板銀	II AIT`b4-96	1.14
137	元禄豆板銀	II AIT`b4-97	0.41
138	元禄豆板銀	II AIT`b4-98	1.11
139	元禄豆板銀	II AIT`b4-99	1.02
140	元禄豆板銀	II AIT`b4-100	1.62
141	元禄豆板銀	II AIT`b4-101	1.06
142	元禄豆板銀	II AIT`b4-102	0.31
143	元禄豆板銀	II AIT`b4-103	0.57
144	元禄豆板銀	II AIT`b4-104	0.85
145	元禄豆板銀	II AIT`b4-105	0.76
146	元禄豆板銀	II AIT`b4-106	0.59
147	元禄豆板銀	II AIT`b4-107	0.48
148	元禄豆板銀	II AIT`b4-108	0.62
149	元禄豆板銀	II AIT`b4-109	0.58
150	元禄豆板銀	II AIT`b4-110	0.46
151	元禄豆板銀	II AIT`b4-111	0.20
152	元禄豆板銀	II AIT`b4-112	6.23
153	元禄豆板銀	II AIT`b4-113	4.57
154	元禄豆板銀	II AIT`b4-114	7.66

⑭宝永期豆板銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
155	元禄豆板銀	II AIT`b4-115	5.42
156	元禄豆板銀	II AIT`b4-116	4.96
157	元禄豆板銀	II AIT`b4-117	4.33
158	元禄豆板銀	II AIT`b4-118	4.45
159	元禄豆板銀	II AIT`b4-119	5.28
160	元禄豆板銀	II AIT`b4-120	5.95
161	元禄豆板銀	II AIT`b4-121	12.20
162	元禄豆板銀	II AIT`b4-122	5.42
163	元禄豆板銀	II AIT`b4-123	4.37
164	元禄豆板銀	II AIT`b4-124	5.13
165	元禄豆板銀	II AIT`b4-125	7.12
166	元禄豆板銀	II AIT`b4-126	6.48
167	元禄豆板銀	II AIT`b4-127	8.31
168	元禄豆板銀	II AIT`b4-128	4.12
169	元禄豆板銀	II AIT`b4-129	3.83
170	元禄豆板銀	II AIT`b4-130	6.32
171	元禄豆板銀	II AIT`b4-131	6.37
172	元禄豆板銀	II AIT`b4-132	3.17
173	元禄豆板銀	II AIT`b4-133	6.92
174	元禄豆板銀	II AIT`b4-134	6.93
175	元禄豆板銀	II AIT`b4-135	6.35

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
176	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 1	8.49
177	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 2	12.89
178	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 3	7.60
179	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 4	11.25
180	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 5	5.78
181	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 6	4.71
182	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 7	2.82
183	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 8	4.04
184	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6- 9	3.38
185	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-10	3.35
186	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-12	2.98
187	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-13	13.10
188	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-14	21.02
189	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-15	13.96
190	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-16	12.30
191	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-17	2.99
192	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-19	2.79
193	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-20	2.05
194	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-21	1.39
195	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-22	0.89
196	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-23	0.30
197	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-24	0.15
198	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-25	0.15
199	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-26	6.61
200	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-27	5.73
201	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-28	6.42
202	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-29	4.54
203	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-30	5.01
204	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-31	5.46
205	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-32	3.81
206	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-34	5.07
207	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-35	5.45
208	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-36	2.59
209	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-38	3.01
210	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-39	3.40
211	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-40	4.76
212	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-41	3.69
213	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-42	5.88
214	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-43	5.89
215	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-44	4.35
216	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-45	9.15
217	宝永二ツ宝豆板銀	II AIT`b6-46	3.16

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
218	宝永永字豆板銀	II AIT`b8- 1	13.54
219	宝永永字豆板銀	II AIT`b8- 2	8.72
220	宝永永字豆板銀	II AIT`b8- 4	13.74
221	宝永永字豆板銀	II AIT`b8- 5	16.66

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
222	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 2	10.24
223	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 3	16.09
224	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 4	26.54
225	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 5	21.91
226	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 6	6.71
227	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 7	11.25
228	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 8	19.70
229	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10- 9	8.21
230	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-10	17.93
231	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-11	5.13
232	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-13	4.53
233	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-14	4.15
234	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-15	0.30
235	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-16	6.70
236	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-18	3.57
237	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-19	2.81
238	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-20	3.76
239	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-21	6.63
240	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-22	7.53
241	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-23	3.69
242	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-24	6.95
243	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-26	2.27
244	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-27	5.62
245	宝永三ツ宝豆板銀	II AIT`b10-28	4.16

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
246	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12- 2	15.40
247	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12- 3	15.37
248	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12- 4	10.54
249	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12- 6	26.53
250	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12- 7	41.98
251	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12- 9	8.81
252	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-10	5.90
253	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-12	0.64
254	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-13	0.87
255	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-14	0.48
256	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-15	0.69
257	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-16	0.63
258	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-17	0.55
259	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-18	0.58
260	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-19	0.22
261	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-20	0.17
262	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-21	0.29
263	宝永四ツ宝豆板銀	II AIT`b12-22	0.22

⑮正徳豆板銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
264	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-2	0.95
265	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-3	6.65
266	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-4	9.77
267	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-5	8.28
268	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-6	8.70
269	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-7	8.13
270	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-8	8.32
271	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-9	8.16
272	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-10	7.58
273	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-11	7.86
274	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-12	5.80
275	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-13	5.60
276	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-14	5.18
277	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-15	4.56
278	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-16	5.44
279	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-17	3.36
280	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-18	3.67
281	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-20	6.51
282	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-21	12.99
283	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-22	13.65
284	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-23	10.14
285	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-24	8.34
286	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-25	5.59
287	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-26	5.16
288	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-27	6.15
289	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-28	4.41
290	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-29	10.36
291	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-31	15.27
292	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-32	12.55
293	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-33	9.33
294	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-34	8.96
295	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-35	6.79
296	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-36	5.41
297	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-37	5.53
298	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-38	6.13
299	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-39	6.01
300	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-40	5.22
301	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-41	5.00
302	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-43	10.68
303	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-44	14.16
304	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-45	11.05
305	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-46	9.19
306	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-47	10.80
307	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-48	6.97
308	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-49	6.15
309	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-50	4.50
310	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-51	5.54
311	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-52	13.16
312	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-53	9.54
313	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-54	12.55
314	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-55	10.71
315	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-56	12.60
316	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-57	10.87
317	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-58	7.93
318	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-59	12.28

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
319	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-60	9.44
320	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-61	6.33
321	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-62	4.48
322	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-63	6.70
323	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-64	5.36
324	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-65	24.08
325	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-66	18.73
326	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-67	18.07
327	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-68	16.04
328	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-69	8.31
329	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-70	6.22
330	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-71	7.41
331	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-72	6.84
332	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-73	4.64
333	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-74	6.78
334	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-75	4.87
335	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-76	9.42
336	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-77	1.10
337	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-78	1.08
338	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-79	1.13
339	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-80	1.64
340	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-81	0.83
341	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-82	0.99
342	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-83	0.89
343	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-84	0.59
344	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-85	0.59
345	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-86	0.62
346	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-87	0.47
347	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-88	0.89
348	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-89	1.10
349	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-90	0.77
350	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-91	0.74
351	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-92	0.61
352	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-93	0.69
353	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-94	0.73
354	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-95	0.49
355	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-96	0.82
356	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-97	1.06
357	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-98	1.13
358	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-99	0.62
359	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-100	0.91
360	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-101	0.70
361	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-102	1.15
362	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-103	0.61
363	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-104	0.73
364	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-105	0.96
365	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-106	0.95
366	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-107	1.15
367	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-108	0.33
368	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-109	0.78
369	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-110	0.59
370	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-111	0.38
371	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-112	0.58
372	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-113	0.76
373	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-114	0.66

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
374	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-115	0.45
375	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-116	0.20
376	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-117	0.24
377	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-118	0.13
378	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-119	0.26
379	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-120	0.19
380	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-121	0.38
381	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-122	0.12
382	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-123	0.28
383	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-124	0.12
384	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-125	0.24
385	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-126	0.91
386	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-127	1.14
387	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-128	0.80
388	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-129	0.96
389	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-130	0.80
390	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-131	1.16
391	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-132	1.14
392	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-133	1.00
393	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-134	0.36
394	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-135	0.67
395	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-136	1.04
396	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-137	0.84
397	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-138	0.93
398	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-139	0.14
399	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-140	0.54
400	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-141	1.29
401	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-142	0.74
402	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-143	0.27
403	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-144	0.72
404	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-145	0.35
405	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-146	0.72
406	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-147	0.48
407	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-148	0.50
408	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-149	0.37
409	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-150	0.37
410	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-151	1.94
411	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-152	0.88
412	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-153	1.03
413	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-154	1.02
414	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-155	1.27
415	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-156	1.16
416	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-157	0.88
417	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-158	1.09
418	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-159	0.85
419	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-160	1.13
420	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-161	0.86
421	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-162	1.10
422	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-163	0.83
423	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-164	0.84
424	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-165	0.60
425	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-166	1.07
426	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-167	0.16
427	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-168	0.19
428	正徳豆板銀	ⅡAⅠ᠎b15-169	0.28

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
429	正徳豆板銀	II AIT`b15-170	1.11
430	正徳豆板銀	II AIT`b15-171	0.79
431	正徳豆板銀	II AIT`b15-172	0.92
432	正徳豆板銀	II AIT`b15-173	0.88
433	正徳豆板銀	II AIT`b15-174	0.73
434	正徳豆板銀	II AIT`b15-175	0.79
435	正徳豆板銀	II AIT`b15-176	0.92
436	正徳豆板銀	II AIT`b15-177	1.52
437	正徳豆板銀	II AIT`b15-178	1.04
438	正徳豆板銀	II AIT`b15-179	1.11
439	正徳豆板銀	II AIT`b15-180	2.06
440	正徳豆板銀	II AIT`b15-181	0.89
441	正徳豆板銀	II AIT`b15-182	1.06
442	正徳豆板銀	II AIT`b15-183	0.52
443	正徳豆板銀	II AIT`b15-184	0.22
444	正徳豆板銀	II AIT`b15-185	0.56
445	正徳豆板銀	II AIT`b15-186	0.53
446	正徳豆板銀	II AIT`b15-187	0.80
447	正徳豆板銀	II AIT`b15-188	0.20
448	正徳豆板銀	II AIT`b15-189	0.17
449	正徳豆板銀	II AIT`b15-190	0.91
450	正徳豆板銀	II AIT`b15-191	0.71
451	正徳豆板銀	II AIT`b15-192	1.14
452	正徳豆板銀	II AIT`b15-193	0.74
453	正徳豆板銀	II AIT`b15-194	0.24
454	正徳豆板銀	II AIT`b15-195	1.02
455	正徳豆板銀	II AIT`b15-196	0.77
456	正徳豆板銀	II AIT`b15-197	1.93
457	正徳豆板銀	II AIT`b15-198	0.91
458	正徳豆板銀	II AIT`b15-199	0.71
459	正徳豆板銀	II AIT`b15-200	0.90
460	正徳豆板銀	II AIT`b15-201	0.68
461	正徳豆板銀	II AIT`b15-202	0.30
462	正徳豆板銀	II AIT`b15-203	0.87
463	正徳豆板銀	II AIT`b15-204	0.88
464	正徳豆板銀	II AIT`b15-205	0.40
465	正徳豆板銀	II AIT`b15-206	0.90
466	正徳豆板銀	II AIT`b15-207	0.94
467	正徳豆板銀	II AIT`b15-208	0.35
468	正徳豆板銀	II AIT`b15-209	0.98
469	正徳豆板銀	II AIT`b15-210	0.86
470	正徳豆板銀	II AIT`b15-211	1.62
471	正徳豆板銀	II AIT`b15-212	0.40
472	正徳豆板銀	II AIT`b15-213	0.52
473	正徳豆板銀	II AIT`b15-214	1.94
474	正徳豆板銀	II AIT`b15-215	0.75
475	正徳豆板銀	II AIT`b15-216	0.52
476	正徳豆板銀	II AIT`b15-217	0.44
477	正徳豆板銀	II AIT`b15-218	0.39
478	正徳豆板銀	II AIT`b15-219	0.80
479	正徳豆板銀	II AIT`b15-220	0.53
480	正徳豆板銀	II AIT`b15-221	0.43
481	正徳豆板銀	II AIT`b15-222	0.73
482	正徳豆板銀	II AIT`b15-223	0.65
483	正徳豆板銀	II AIT`b15-224	0.47

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
484	正徳豆板銀	II AIT`b15-225	0.40
485	正徳豆板銀	II AIT`b15-226	0.07
486	正徳豆板銀	II AIT`b15-227	0.40
487	正徳豆板銀	II AIT`b15-228	0.39
488	正徳豆板銀	II AIT`b15-229	7.01
489	正徳豆板銀	II AIT`b15-230	5.37
490	正徳豆板銀	II AIT`b15-231	7.03
491	正徳豆板銀	II AIT`b15-232	5.00
492	正徳豆板銀	II AIT`b15-233	5.30
493	正徳豆板銀	II AIT`b15-234	6.09
494	正徳豆板銀	II AIT`b15-235	6.33
495	正徳豆板銀	II AIT`b15-236	6.64
496	正徳豆板銀	II AIT`b15-237	5.42
497	正徳豆板銀	II AIT`b15-238	4.78
498	正徳豆板銀	II AIT`b15-239	4.81
499	正徳豆板銀	II AIT`b15-240	3.05
500	正徳豆板銀	II AIT`b15-241	3.56

⑩元文豆板銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
501	元文豆板銀	II AIT`b17- 1	24.60
502	元文豆板銀	II AIT`b17- 2	7.77
503	元文豆板銀	II AIT`b17- 3	9.30
504	元文豆板銀	II AIT`b17- 4	14.41
505	元文豆板銀	II AIT`b17- 5	23.79
506	元文豆板銀	II AIT`b17- 6	11.68
507	元文豆板銀	II AIT`b17- 7	10.34
508	元文豆板銀	II AIT`b17- 8	17.38
509	元文豆板銀	II AIT`b17- 9	9.38
510	元文豆板銀	II AIT`b17-11	29.22
511	元文豆板銀	II AIT`b17-12	10.78
512	元文豆板銀	II AIT`b17-13	14.08
513	元文豆板銀	II AIT`b17-14	22.27
514	元文豆板銀	II AIT`b17-15	13.56
515	元文豆板銀	II AIT`b17-16	15.33
516	元文豆板銀	II AIT`b17-17	10.99
517	元文豆板銀	II AIT`b17-18	8.68
518	元文豆板銀	II AIT`b17-19	10.81
519	元文豆板銀	II AIT`b17-20	14.65
520	元文豆板銀	II AIT`b17-21	10.58
521	元文豆板銀	II AIT`b17-22	6.61
522	元文豆板銀	II AIT`b17-23	5.30
523	元文豆板銀	II AIT`b17-24	5.02
524	元文豆板銀	II AIT`b17-25	3.49
525	元文豆板銀	II AIT`b17-26	3.43
526	元文豆板銀	II AIT`b17-27	3.57
527	元文豆板銀	II AIT`b17-28	16.53
528	元文豆板銀	II AIT`b17-29	8.25
529	元文豆板銀	II AIT`b17-30	11.63
530	元文豆板銀	II AIT`b17-31	9.84
531	元文豆板銀	II AIT`b17-32	7.03
532	元文豆板銀	II AIT`b17-33	6.85
533	元文豆板銀	II AIT`b17-34	5.75
534	元文豆板銀	II AIT`b17-35	43.04
535	元文豆板銀	II AIT`b17-37	15.54
536	元文豆板銀	II AIT`b17-38	13.07
537	元文豆板銀	II AIT`b17-39	12.26
538	元文豆板銀	II AIT`b17-40	5.35
539	元文豆板銀	II AIT`b17-41	10.27
540	元文豆板銀	II AIT`b17-42	10.14
541	元文豆板銀	II AIT`b17-43	11.90
542	元文豆板銀	II AIT`b17-44	7.97
543	元文豆板銀	II AIT`b17-45	13.94
544	元文豆板銀	II AIT`b17-46	11.19
545	元文豆板銀	II AIT`b17-47	5.13
546	元文豆板銀	II AIT`b17-48	4.37
547	元文豆板銀	II AIT`b17-49	16.63
548	元文豆板銀	II AIT`b17-50	26.82
549	元文豆板銀	II AIT`b17-51	26.31
550	元文豆板銀	II AIT`b17-52	13.58
551	元文豆板銀	II AIT`b17-53	31.25
552	元文豆板銀	II AIT`b17-54	18.13
553	元文豆板銀	II AIT`b17-55	13.06
554	元文豆板銀	II AIT`b17-56	9.79
555	元文豆板銀	II AIT`b17-57	13.72

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
556	元文豆板銀	II AIT`b17-58	9.44
557	元文豆板銀	II AIT`b17-59	3.34
558	元文豆板銀	II AIT`b17-60	43.33
559	元文豆板銀	II AIT`b17-61	14.89
560	元文豆板銀	II AIT`b17-62	13.84
561	元文豆板銀	II AIT`b17-63	11.30
562	元文豆板銀	II AIT`b17-64	7.09
563	元文豆板銀	II AIT`b17-65	6.95
564	元文豆板銀	II AIT`b17-66	1.96
565	元文豆板銀	II AIT`b17-67	29.86
566	元文豆板銀	II AIT`b17-68	12.93
567	元文豆板銀	II AIT`b17-69	13.73
568	元文豆板銀	II AIT`b17-70	12.14
569	元文豆板銀	II AIT`b17-71	9.00
570	元文豆板銀	II AIT`b17-72	11.33
571	元文豆板銀	II AIT`b17-74	3.21
572	元文豆板銀	II AIT`b17-75	22.18
573	元文豆板銀	II AIT`b17-76	12.03
574	元文豆板銀	II AIT`b17-77	10.22
575	元文豆板銀	II AIT`b17-78	9.37
576	元文豆板銀	II AIT`b17-79	3.76
577	元文豆板銀	II AIT`b17-80	8.80
578	元文豆板銀	II AIT`b17-81	1.94
579	元文豆板銀	II AIT`b17-82	1.68
580	元文豆板銀	II AIT`b17-83	2.13
581	元文豆板銀	II AIT`b17-84	1.79
582	元文豆板銀	II AIT`b17-85	0.93
583	元文豆板銀	II AIT`b17-86	0.37
584	元文豆板銀	II AIT`b17-87	1.22
585	元文豆板銀	II AIT`b17-88	1.09
586	元文豆板銀	II AIT`b17-89	1.21
587	元文豆板銀	II AIT`b17-90	0.84
588	元文豆板銀	II AIT`b17-91	0.81
589	元文豆板銀	II AIT`b17-92	0.42
590	元文豆板銀	II AIT`b17-93	1.23
591	元文豆板銀	II AIT`b17-94	0.82
592	元文豆板銀	II AIT`b17-95	1.35
593	元文豆板銀	II AIT`b17-96	1.32
594	元文豆板銀	II AIT`b17-97	1.60
595	元文豆板銀	II AIT`b17-98	1.84
596	元文豆板銀	II AIT`b17-99	1.73
597	元文豆板銀	II AIT`b17-100	2.22
598	元文豆板銀	II AIT`b17-101	1.82
599	元文豆板銀	II AIT`b17-102	1.75
600	元文豆板銀	II AIT`b17-103	1.80
601	元文豆板銀	II AIT`b17-104	1.34
602	元文豆板銀	II AIT`b17-105	1.37
603	元文豆板銀	II AIT`b17-106	2.02
604	元文豆板銀	II AIT`b17-107	1.22
605	元文豆板銀	II AIT`b17-108	1.89
606	元文豆板銀	II AIT`b17-109	2.00
607	元文豆板銀	II AIT`b17-110	2.23
608	元文豆板銀	II AIT`b17-111	1.67
609	元文豆板銀	II AIT`b17-112	1.54
610	元文豆板銀	II AIT`b17-113	1.52

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
611	元文豆板銀	II AIT`b17-114	1.11
612	元文豆板銀	II AIT`b17-115	1.08
613	元文豆板銀	II AIT`b17-116	0.74
614	元文豆板銀	II AIT`b17-117	0.43
615	元文豆板銀	II AIT`b17-118	0.31
616	元文豆板銀	II AIT`b17-119	0.44
617	元文豆板銀	II AIT`b17-120	0.57
618	元文豆板銀	II AIT`b17-121	0.74
619	元文豆板銀	II AIT`b17-122	0.23
620	元文豆板銀	II AIT`b17-123	0.50
621	元文豆板銀	II AIT`b17-124	0.27
622	元文豆板銀	II AIT`b17-125	0.23
623	元文豆板銀	II AIT`b17-126	0.53
624	元文豆板銀	II AIT`b17-127	0.16
625	元文豆板銀	II AIT`b17-128	0.18
626	元文豆板銀	II AIT`b17-129	0.32
627	元文豆板銀	II AIT`b17-130	0.31
628	元文豆板銀	II AIT`b17-131	0.48
629	元文豆板銀	II AIT`b17-132	0.65
630	元文豆板銀	II AIT`b17-133	0.32
631	元文豆板銀	II AIT`b17-134	0.30
632	元文豆板銀	II AIT`b17-135	0.24
633	元文豆板銀	II AIT`b17-136	0.53
634	元文豆板銀	II AIT`b17-137	0.37
635	元文豆板銀	II AIT`b17-138	0.36
636	元文豆板銀	II AIT`b17-139	0.34
637	元文豆板銀	II AIT`b17-140	0.64
638	元文豆板銀	II AIT`b17-141	0.68
639	元文豆板銀	II AIT`b17-142	0.21
640	元文豆板銀	II AIT`b17-143	0.31
641	元文豆板銀	II AIT`b17-144	0.21
642	元文豆板銀	II AIT`b17-145	1.26
643	元文豆板銀	II AIT`b17-146	5.69
644	元文豆板銀	II AIT`b17-147	12.04
645	元文豆板銀	II AIT`b17-148	6.79
646	元文豆板銀	II AIT`b17-149	12.39
647	元文豆板銀	II AIT`b17-150	6.10
648	元文豆板銀	II AIT`b17-152	12.99
649	元文豆板銀	II AIT`b17-153	4.96
650	元文豆板銀	II AIT`b17-154	5.97
651	元文豆板銀	II AIT`b17-155	4.64
652	元文豆板銀	II AIT`b17-156	6.32
653	元文豆板銀	II AIT`b17-157	5.25
654	元文豆板銀	II AIT`b17-158	4.50
655	元文豆板銀	II AIT`b17-159	4.47
656	元文豆板銀	II AIT`b17-160	4.09
657	元文豆板銀	II AIT`b17-161	6.06
658	元文豆板銀	II AIT`b17-162	5.47
659	元文豆板銀	II AIT`b17-163	6.78
660	元文豆板銀	II AIT`b17-164	4.94
661	元文豆板銀	II AIT`b17-165	3.12
662	元文豆板銀	II AIT`b17-166	2.19
663	元文豆板銀	II AIT`b17-167	3.33
664	元文豆板銀	II AIT`b17-168	5.32
665	元文豆板銀	II AIT`b17-169	4.77

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
666	元文豆板銀	II AIT`b17-170	9.26
667	元文豆板銀	II AIT`b17-171	11.70
668	元文豆板銀	II AIT`b17-172	5.09
669	元文豆板銀	II AIT`b17-173	6.26
670	元文豆板銀	II AIT`b17-174	3.27
671	元文豆板銀	II AIT`b17-175	3.46

⑰文政豆板銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
672	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-1	13.21
673	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-2	10.07
674	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-3	13.76
675	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-4	12.37
676	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-5	9.87
677	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-6	7.71
678	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-7	5.88
679	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-8	20.96
680	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-9	9.67
681	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-10	8.57
682	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-11	11.34
683	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-12	5.99
684	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-13	10.80
685	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-14	6.22
686	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-15	16.10
687	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-17	14.46
688	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-18	13.42
689	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-19	12.82
690	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-21	10.10
691	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-22	7.08
692	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-24	8.79
693	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-25	10.90
694	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-26	11.76
695	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-27	6.14
696	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-28	8.42
697	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-29	5.22
698	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-30	6.84
699	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-31	5.90
700	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-32	12.50
701	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-33	13.72
702	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-34	9.79
703	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-36	5.01
704	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-37	7.73
705	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-41	6.28
706	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-47	6.51
707	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-48	6.78
708	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-49	5.32
709	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-50	3.04
710	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-51	1.94
711	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-52	1.56
712	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-53	1.46
713	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-54	1.34
714	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-55	0.77
715	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-56	1.06
716	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-57	0.54
717	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-58	0.58
718	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-59	1.26
719	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-61	14.01
720	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-62	7.86
721	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-63	13.26
722	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-64	8.11
723	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-65	6.24
724	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-66	7.39
725	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-67	7.44
726	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-68	6.98

⑱天保豆板銀

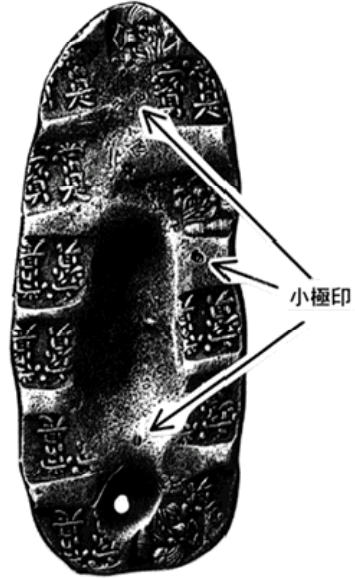
番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
727	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-69	6.05
728	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-70	7.73
729	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-71	9.01
730	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-72	8.92
731	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-73	5.56
732	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-74	7.81
733	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-75	5.81
734	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-76	6.27
735	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-77	4.29
736	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-78	3.73
737	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-79	4.32
738	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-80	7.59
739	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-81	8.62
740	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-82	10.42
741	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-83	8.47
742	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-84	7.91
743	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-85	11.37
744	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-86	7.44
745	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-87	9.26
746	文政豆板銀	ⅡA1T`b21-88	8.37
747	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-2	12.59
748	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-3	19.31
749	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-4	11.15
750	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-5	14.03
751	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-6	14.48
752	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-7	13.84
753	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-8	10.11
754	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-9	16.72
755	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-10	12.97
756	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-11	11.06
757	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-12	8.86
758	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-13	16.44
759	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-14	24.84
760	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-15	13.19
761	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-16	9.56
762	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-17	11.06
763	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-19	21.18
764	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-20	24.01
765	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-21	24.95
766	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-22	26.05
767	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-23	14.50
768	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-24	12.94
769	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-25	10.70
770	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-26	8.22
771	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-27	23.32
772	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-28	17.04
773	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-29	15.82
774	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-30	18.27
775	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-31	12.89
776	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-32	7.99
777	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-33	9.43
778	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-34	7.76
779	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-35	14.80
780	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-36	11.02
781	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-37	7.11
782	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-38	8.88
783	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-39	20.35
784	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-40	12.79
785	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-41	8.27
786	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-42	7.73
787	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-43	5.60
788	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-44	5.27
789	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-45	6.73
790	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-46	5.04
791	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-47	4.92
792	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-48	3.67
793	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-49	10.59
794	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-50	6.98
795	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-51	7.10
796	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-52	6.41
797	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-53	5.07
798	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-54	5.20
799	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-55	4.82
800	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-56	4.63
801	天保豆板銀	ⅡA1T`b26-57	5.28

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
802	天保豆板銀	II AIT`b26-58	3.69
803	天保豆板銀	II AIT`b26-59	8.56
804	天保豆板銀	II AIT`b26-60	6.40
805	天保豆板銀	II AIT`b26-61	6.63
806	天保豆板銀	II AIT`b26-62	5.29
807	天保豆板銀	II AIT`b26-63	4.86
808	天保豆板銀	II AIT`b26-64	3.18
809	天保豆板銀	II AIT`b26-65	2.42
810	天保豆板銀	II AIT`b26-66	1.01
811	天保豆板銀	II AIT`b26-67	1.74
812	天保豆板銀	II AIT`b26-68	1.20
813	天保豆板銀	II AIT`b26-69	2.30
814	天保豆板銀	II AIT`b26-70	1.88
815	天保豆板銀	II AIT`b26-71	1.42
816	天保豆板銀	II AIT`b26-72	1.24
817	天保豆板銀	II AIT`b26-73	1.33
818	天保豆板銀	II AIT`b26-74	0.74
819	天保豆板銀	II AIT`b26-75	0.70
820	天保豆板銀	II AIT`b26-76	1.36
821	天保豆板銀	II AIT`b26-77	0.48
822	天保豆板銀	II AIT`b26-78	0.48
823	天保豆板銀	II AIT`b26-79	0.74
824	天保豆板銀	II AIT`b26-80	0.45
825	天保豆板銀	II AIT`b26-81	0.60
826	天保豆板銀	II AIT`b26-82	0.51
827	天保豆板銀	II AIT`b26-83	0.59
828	天保豆板銀	II AIT`b26-84	0.57
829	天保豆板銀	II AIT`b26-85	0.52
830	天保豆板銀	II AIT`b26-86	0.93
831	天保豆板銀	II AIT`b26-87	14.93
832	天保豆板銀	II AIT`b26-88	11.83
833	天保豆板銀	II AIT`b26-89	8.89
834	天保豆板銀	II AIT`b26-90	7.38
835	天保豆板銀	II AIT`b26-91	9.27
836	天保豆板銀	II AIT`b26-92	6.12
837	天保豆板銀	II AIT`b26-93	7.55
838	天保豆板銀	II AIT`b26-94	4.88
839	天保豆板銀	II AIT`b26-95	7.26
840	天保豆板銀	II AIT`b26-96	6.63
841	天保豆板銀	II AIT`b26-97	8.60
842	天保豆板銀	II AIT`b26-98	5.93
843	天保豆板銀	II AIT`b26-99	4.88
844	天保豆板銀	II AIT`b26-100	2.60
845	天保豆板銀	II AIT`b26-101	25.08
846	天保豆板銀	II AIT`b26-102	11.22
847	天保豆板銀	II AIT`b26-103	26.48
848	天保豆板銀	II AIT`b26-104	15.08
849	天保豆板銀	II AIT`b26-105	12.94
850	天保豆板銀	II AIT`b26-106	39.69
851	天保豆板銀	II AIT`b26-107	10.04
852	天保豆板銀	II AIT`b26-108	8.14
853	天保豆板銀	II AIT`b26-109	6.31
854	天保豆板銀	II AIT`b26-110	4.23
855	天保豆板銀	II AIT`b26-111	33.45
856	天保豆板銀	II AIT`b26-112	17.65

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
857	天保豆板銀	II AIT`b26-113	9.06
858	天保豆板銀	II AIT`b26-114	8.66
859	天保豆板銀	II AIT`b26-115	9.75
860	天保豆板銀	II AIT`b26-116	10.57
861	天保豆板銀	II AIT`b26-117	9.55
862	天保豆板銀	II AIT`b26-118	5.17
863	天保豆板銀	II AIT`b26-119	5.39
864	天保豆板銀	II AIT`b26-120	2.13
865	天保豆板銀	II AIT`b26-121	3.09
866	天保豆板銀	II AIT`b26-122	9.02
867	天保豆板銀	II AIT`b26-123	9.14
868	天保豆板銀	II AIT`b26-125	64.63
869	天保豆板銀	II AIT`b26-126	11.92
870	天保豆板銀	II AIT`b26-127	6.88
871	天保豆板銀	II AIT`b26-129	17.97
872	天保豆板銀	II AIT`b26-130	18.18
873	天保豆板銀	II AIT`b26-131	23.13
874	天保豆板銀	II AIT`b26-132	17.80
875	天保豆板銀	II AIT`b26-133	15.83
876	天保豆板銀	II AIT`b26-134	10.45
877	天保豆板銀	II AIT`b26-135	12.52
878	天保豆板銀	II AIT`b26-136	17.40
879	天保豆板銀	II AIT`b26-137	17.16
880	天保豆板銀	II AIT`b26-138	11.78
881	天保豆板銀	II AIT`b26-139	9.86
882	天保豆板銀	II AIT`b26-140	8.48
883	天保豆板銀	II AIT`b26-141	13.88
884	天保豆板銀	II AIT`b26-142	12.29
885	天保豆板銀	II AIT`b26-143	9.46
886	天保豆板銀	II AIT`b26-144	17.11
887	天保豆板銀	II AIT`b26-145	11.81
888	天保豆板銀	II AIT`b26-146	7.06
889	天保豆板銀	II AIT`b26-147	3.93
890	天保豆板銀	II AIT`b26-148	5.58
891	天保豆板銀	II AIT`b26-149	4.21
892	天保豆板銀	II AIT`b26-150	4.20
893	天保豆板銀	II AIT`b26-151	6.90
894	天保豆板銀	II AIT`b26-152	8.57
895	天保豆板銀	II AIT`b26-153	5.19

①9安政豆板銀

番号	本行分類	日銀資料番号	重量(g)
896	安政豆板銀	II AIT`b31-1	24.70
897	安政豆板銀	II AIT`b31-2	4.78
898	安政豆板銀	II AIT`b31-3	12.74
899	安政豆板銀	II AIT`b31-4	46.50
900	安政豆板銀	II AIT`b31-5	20.11
901	安政豆板銀	II AIT`b31-6	25.40
902	安政豆板銀	II AIT`b31-7	10.60
903	安政豆板銀	II AIT`b31-8	34.54
904	安政豆板銀	II AIT`b31-9	22.71
905	安政豆板銀	II AIT`b31-10	16.12
906	安政豆板銀	II AIT`b31-11	11.27
907	安政豆板銀	II AIT`b31-12	9.65
908	安政豆板銀	II AIT`b31-13	30.86
909	安政豆板銀	II AIT`b31-14	9.13
910	安政豆板銀	II AIT`b31-17	32.86
911	安政豆板銀	II AIT`b31-18	10.11
912	安政豆板銀	II AIT`b31-19	11.31
913	安政豆板銀	II AIT`b31-20	5.31
914	安政豆板銀	II AIT`b31-21	5.26
915	安政豆板銀	II AIT`b31-22	5.48
916	安政豆板銀	II AIT`b31-23	8.12
917	安政豆板銀	II AIT`b31-24	3.18
918	安政豆板銀	II AIT`b31-25	1.99
919	安政豆板銀	II AIT`b31-26	4.67
920	安政豆板銀	II AIT`b31-27	8.45
921	安政豆板銀	II AIT`b31-28	0.96
922	安政豆板銀	II AIT`b31-29	1.51
923	安政豆板銀	II AIT`b31-30	1.16
924	安政豆板銀	II AIT`b31-31	1.75
925	安政豆板銀	II AIT`b31-32	1.78
926	安政豆板銀	II AIT`b31-33	0.62
927	安政豆板銀	II AIT`b31-34	0.73
928	安政豆板銀	II AIT`b31-35	0.54
929	安政豆板銀	II AIT`b31-36	0.54
930	安政豆板銀	II AIT`b31-37	0.51
931	安政豆板銀	II AIT`b31-38	0.52
932	安政豆板銀	II AIT`b31-39	0.42
933	安政豆板銀	II AIT`b31-40	0.49
934	安政豆板銀	II AIT`b31-41	0.54
935	安政豆板銀	II AIT`b31-42	0.42
936	安政豆板銀	II AIT`b31-43	0.46
937	安政豆板銀	II AIT`b31-44	0.50
938	安政豆板銀	II AIT`b31-45	0.45
939	安政豆板銀	II AIT`b31-46	0.39
940	安政豆板銀	II AIT`b31-47	0.42
941	安政豆板銀	II AIT`b31-48	0.38
942	安政豆板銀	II AIT`b31-49	0.30
943	安政豆板銀	II AIT`b31-50	0.45
944	安政豆板銀	II AIT`b31-51	0.49
945	安政豆板銀	II AIT`b31-52	0.26
946	安政豆板銀	II AIT`b31-53	0.17
947	安政豆板銀	II AIT`b31-54	0.17
948	安政豆板銀	II AIT`b31-55	0.09
949	安政豆板銀	II AIT`b31-56	0.25
950	安政豆板銀	II AIT`b31-57	0.25



慶長丁銀



慶長豆板銀



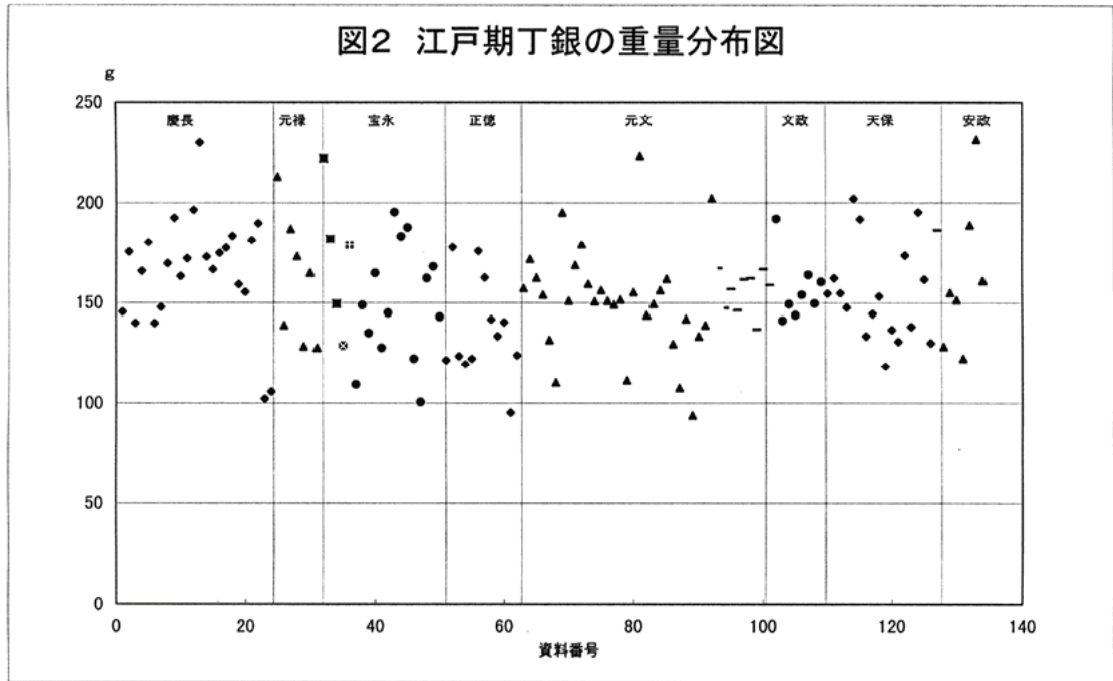
大黒丁銀 (元文丁銀)



銀五百目包

図1 丁銀・豆板銀の形状

図2 江戸期丁銀の重量分布図



— 宝永銀のうち、■は宝永二ツ宝銀、⊗は宝永一ツ宝銀、⊠は宝永三ツ宝銀、●は宝永四ツ宝銀をそれぞれ示す。
また、— は大黒丁銀を示す。

※ 図2、図4および図8の資料番号は、日銀資料番号順に配列されており、各丁銀ごとの分類の中で、鑄造年代や重量など規則的な順列になっている訳ではない。

図3 江戸期丁銀の重量

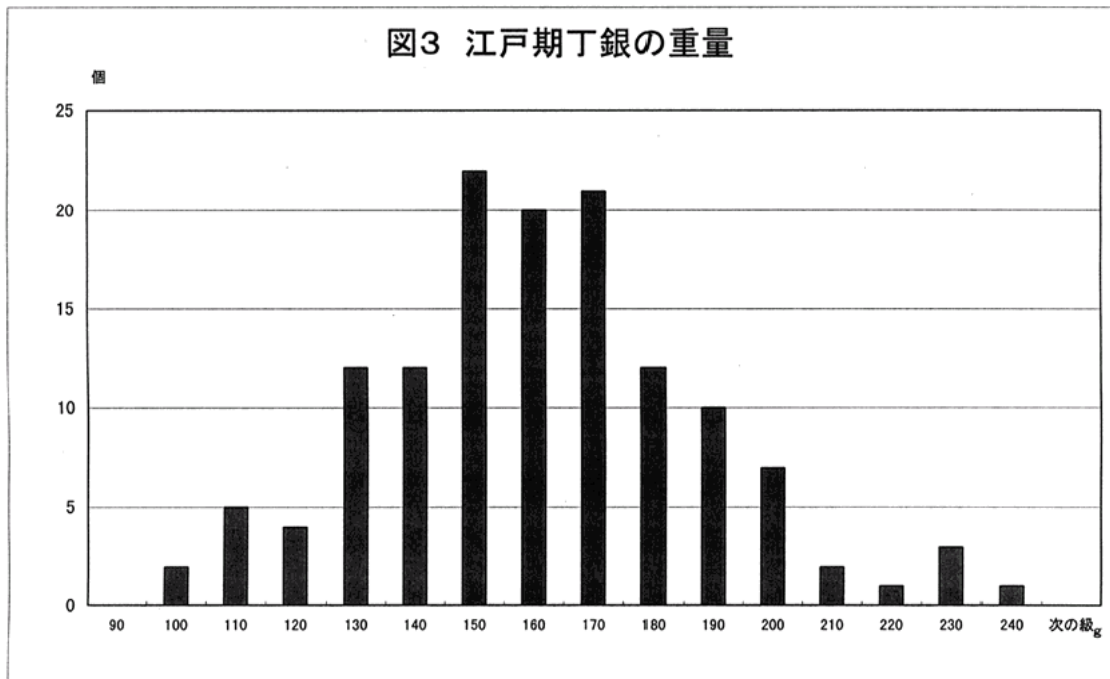


図4 江戸期豆板銀の重量分布図

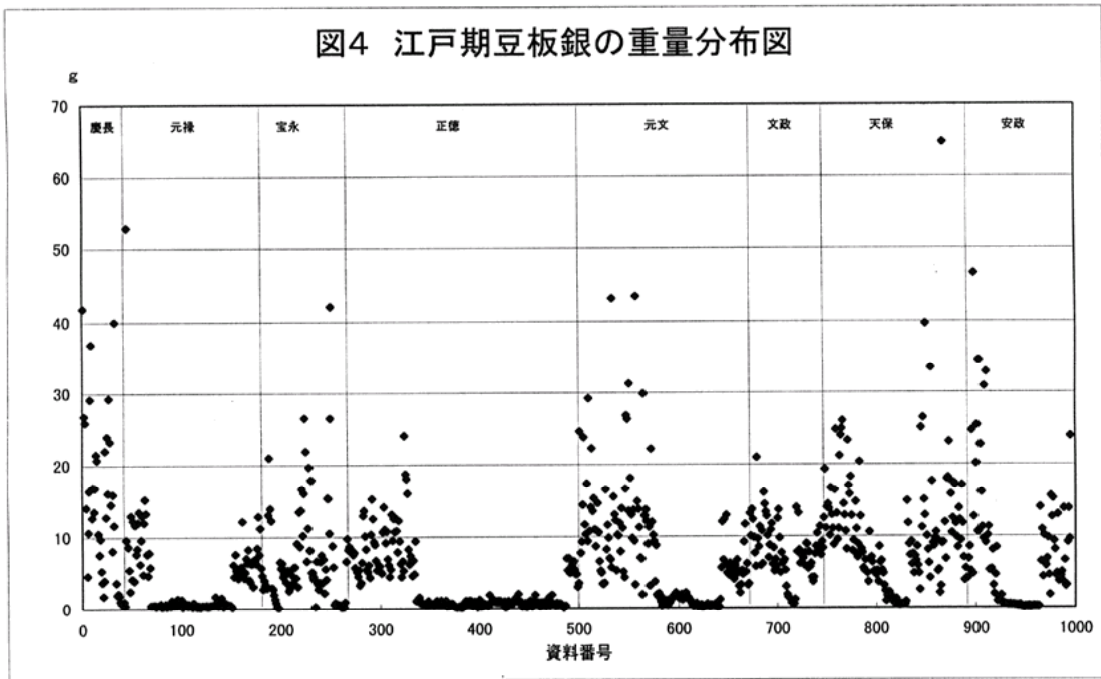
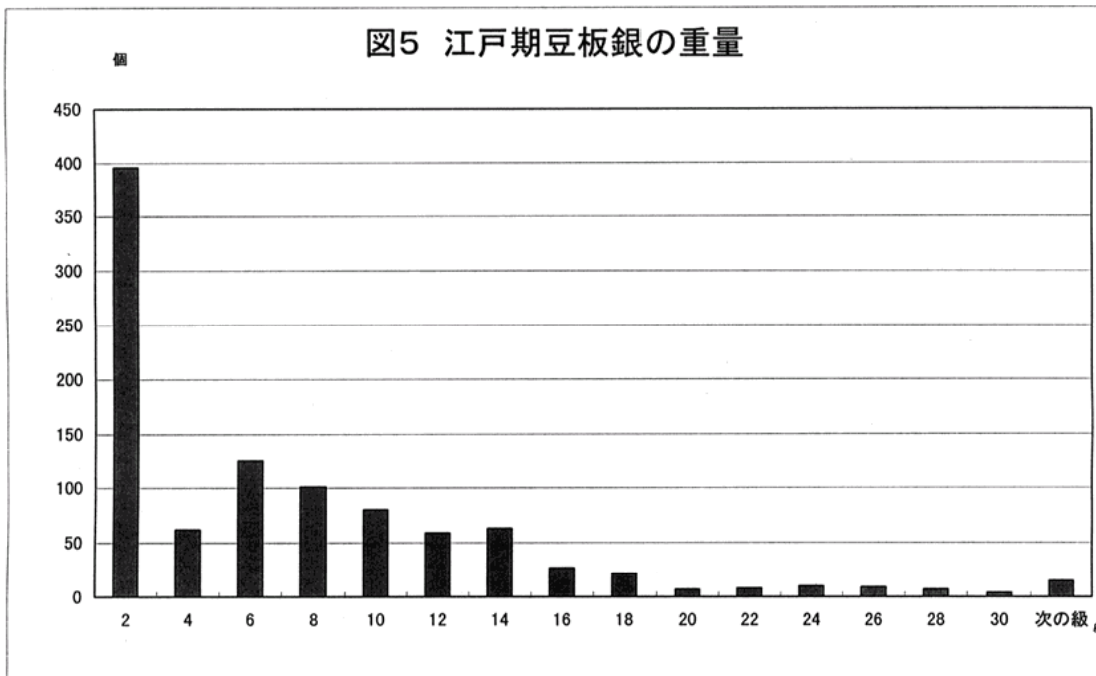


図5 江戸期豆板銀の重量



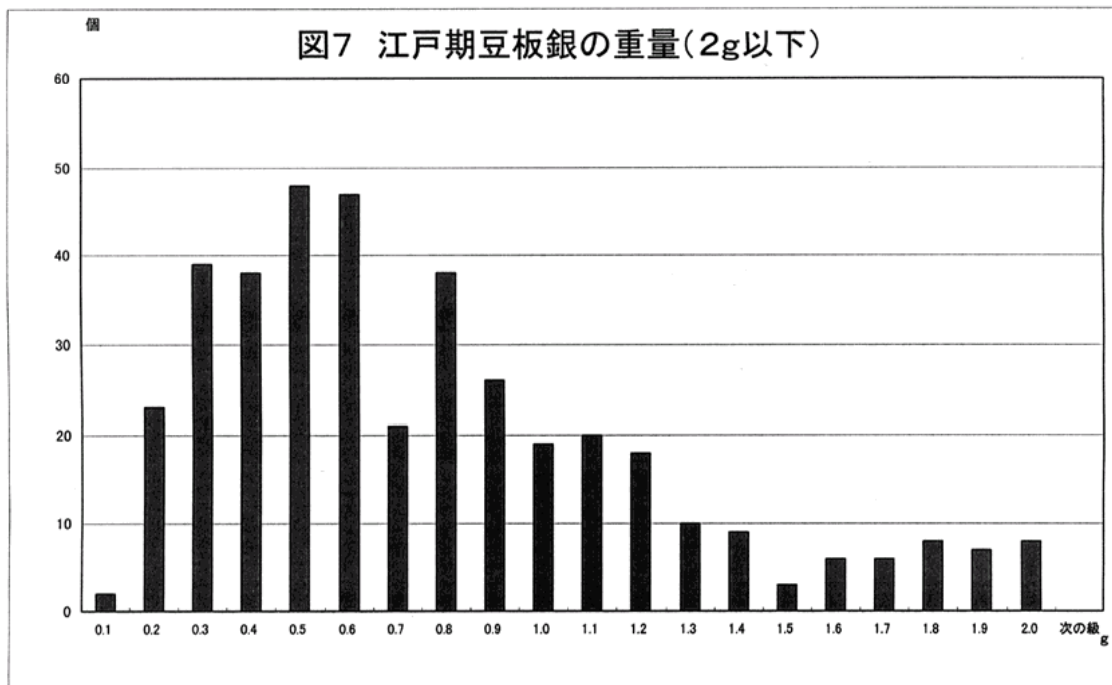
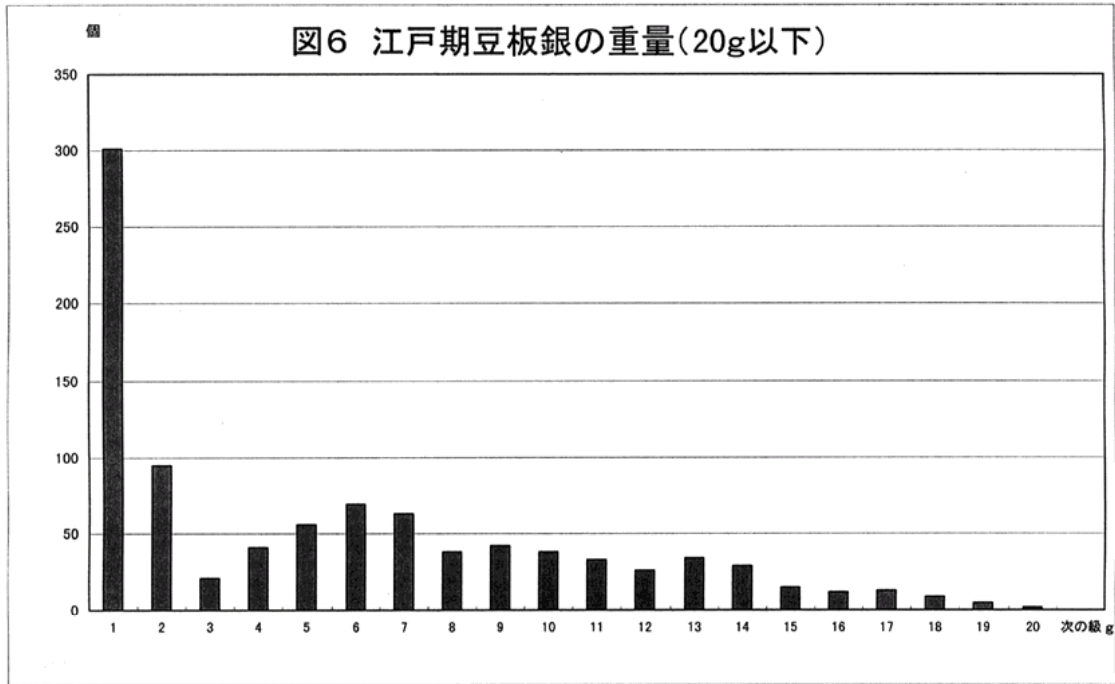


図8 江戸期丁銀の小極印数分布図

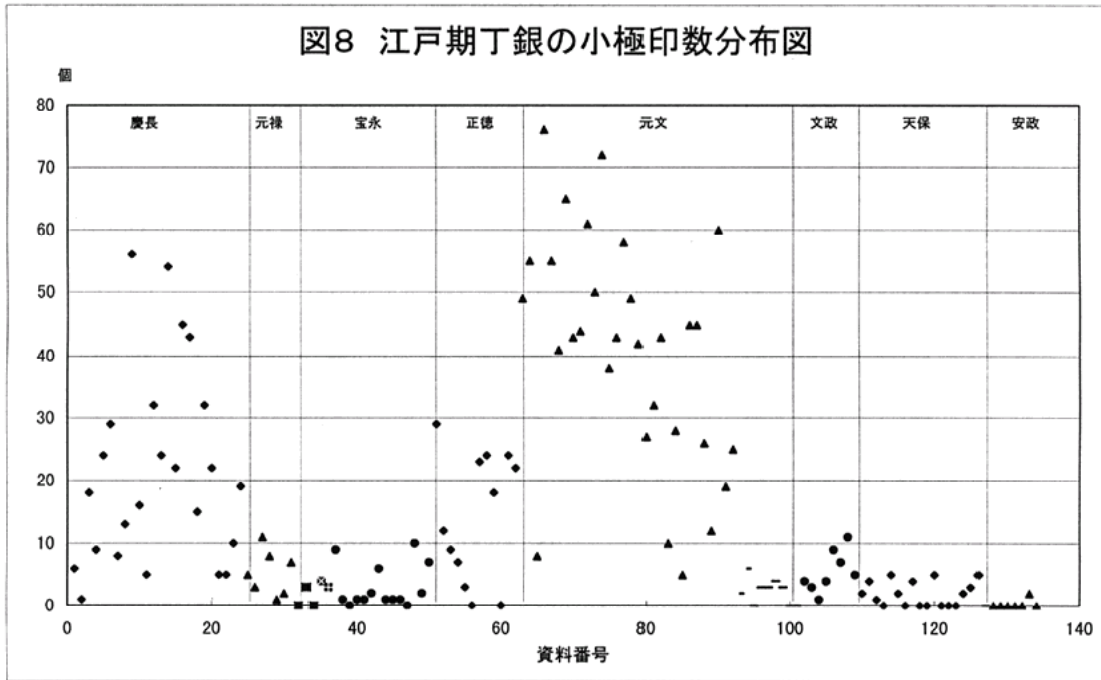
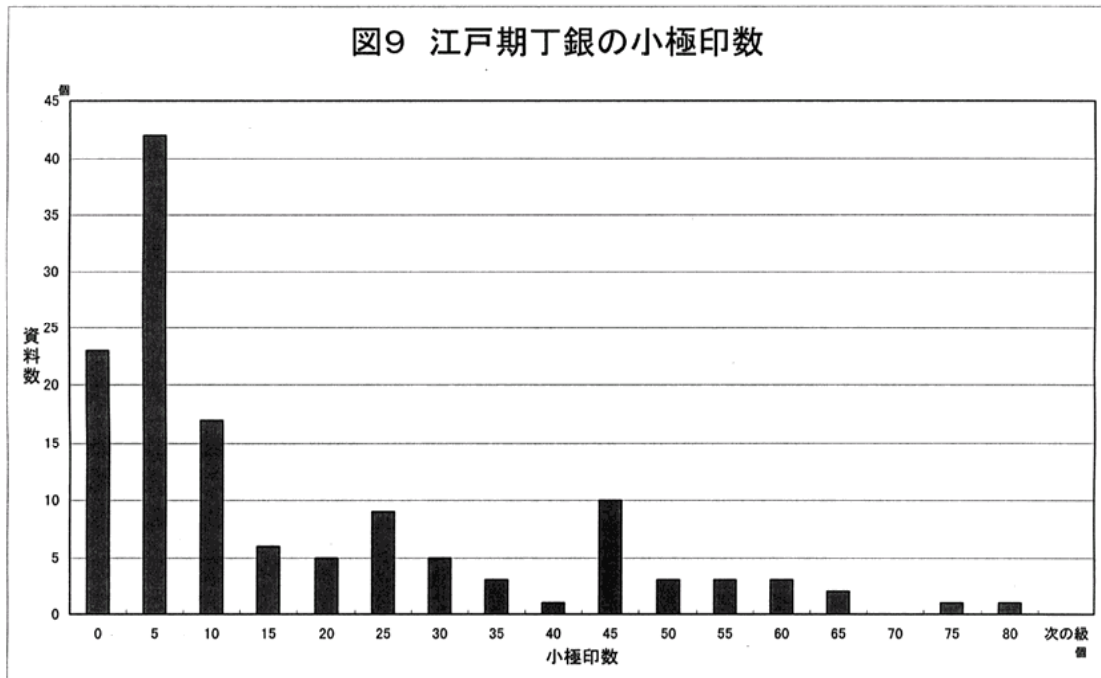


図9 江戸期丁銀の小極印数



以上